

平成 24 事業年度

財 務 諸 表

第 7 期

平成 24 年 4 月 1 日～平成 25 年 3 月 31 日

日本司法支援センター

貸借対照表
(平成25年3月31日)

法人単位

(単位:円)

| | | | |
|---------------|------------------|----------------|-----------------------|
| 資産の部 | | | |
| 流動資産 | | | |
| 現金及び預金 | | 11,469,483,860 | |
| 貯蔵品 | | 9,726,767 | |
| 前払費用 | | 128,354,792 | |
| 未収金 | 492,614,248 | | |
| 貸倒引当金 | △ 298,564,355 | 194,049,893 | |
| 民事法律扶助立替金 | 24,678,579,863 | | |
| 貸倒引当金 | △ 16,851,646,253 | 7,826,933,610 | |
| 流動資産合計 | | | 19,628,548,922 |
| 固定資産 | | | |
| 有形固定資産 | | | |
| 建物 | 1,211,547,181 | | |
| 建物減価償却累計額 | △ 357,715,838 | 853,831,343 | |
| 車両運搬具 | 12,802,705 | | |
| 車両運搬具減価償却累計額 | △ 4,728,627 | 8,074,078 | |
| 工具器具備品 | 1,967,156,141 | | |
| 工具器具備品減価償却累計額 | △ 1,379,595,346 | 587,560,795 | |
| 有形固定資産合計 | | 1,449,466,216 | |
| 無形固定資産 | | | |
| 電話加入権 | | 14,800 | |
| ソフトウェア | | 476,553,392 | |
| 無形固定資産合計 | | 476,568,192 | |
| 投資その他の資産 | | | |
| 長期性預金 | | 200,000,000 | |
| 破産更生債権等 | 11,300,533,101 | | |
| 貸倒引当金 | △ 11,300,533,101 | 0 | |
| 敷金・保証金 | | 151,353,411 | |
| 投資その他の資産合計 | | 351,353,411 | |
| 固定資産合計 | | | 2,277,387,819 |
| 資産合計 | | | <u>21,905,936,741</u> |
| 負債の部 | | | |
| 流動負債 | | | |
| 運営費交付金債務 | | 5,191,473,263 | |
| 預り寄附金 | | 49,015,208 | |
| 未払金 | | 5,424,776,777 | |
| 未払費用 | | 8,169,110 | |
| 前受金 | | 314,294,674 | |
| 預り金 | | 376,809,103 | |
| 前受収益 | | 2,466,020 | |
| リース債務 | | 136,358,499 | |
| 引当金 | | | |
| 賞与引当金 | | 122,937,487 | |
| 流動負債合計 | | | 11,626,300,141 |
| 固定負債 | | | |
| 資産見返負債 | | | |
| 資産見返運営費交付金 | 9,006,071,654 | | |
| 資産見返物品受贈額 | 9,727,443 | 9,015,799,097 | |
| 長期預り寄附金 | | 5,982,060 | |
| 長期リース債務 | | 306,520,569 | |
| 引当金 | | | |
| 退職給付引当金 | | 402,761,167 | |
| 資産除去債務 | | 227,795,834 | |
| 固定負債合計 | | | 9,958,858,727 |
| 負債合計 | | | 21,585,158,868 |
| 純資産の部 | | | |
| 資本金 | | | |
| 政府出資金 | | 351,000,000 | |
| 資本金合計 | | | 351,000,000 |
| 資本剰余金 | | | |
| 資本剰余金 | | 40,175,280 | |
| 資本剰余金合計 | | | 40,175,280 |
| 繰越欠損金 | | | |
| 繰越欠損金 | | 70,397,407 | |
| 繰越欠損金合計 | | | 70,397,407 |
| 純資産合計 | | | 320,777,873 |
| 負債及び純資産合計 | | | <u>21,905,936,741</u> |

損益計算書
(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

法人単位

(単位:円)

| | | |
|--------------|----------------|--------------------------|
| 経常費用 | | |
| 業務費 | | |
| 契約弁護士報酬 | 16,220,998,252 | |
| 人件費 | 5,641,775,100 | |
| 貸倒引当金繰入額 | 4,581,085,859 | |
| 減価償却費 | 92,870,123 | |
| その他 | 1,354,989,598 | 27,891,718,932 |
| 一般管理費 | | |
| 什器備品費 | 18,695,513 | |
| 不動産賃借料 | 1,600,015,949 | |
| 通信運搬費 | 248,713,943 | |
| 広告宣伝費 | 99,124,001 | |
| 人件費 | 1,478,312,007 | |
| 減価償却費 | 356,379,488 | |
| その他 | 1,111,565,890 | 4,912,806,791 |
| 財務費用 | | |
| 支払利息 | 8,300,233 | 8,300,233 |
| 経常費用合計 | | <u>32,812,825,956</u> |
| 経常収益 | | |
| 運営費交付金収益 | 8,666,672,249 | |
| 政府受託収益 | 15,405,364,066 | |
| 寄附金収益 | 61,553,804 | |
| 民事法律扶助事業収益 | 904,203,526 | |
| 有償受任事業収益 | 330,461,062 | |
| 日弁連受託事業収益 | 2,057,870,186 | |
| その他事業収益 | 9,566,478 | 27,435,691,371 |
| 資産見返負債戻入 | | |
| 資産見返運営費交付金戻入 | 5,230,323,744 | |
| 資産見返物品受贈額戻入 | 3,445,191 | 5,233,768,935 |
| 財務収益 | | |
| 受取利息 | 2,155,508 | 2,155,508 |
| 雑益 | | 123,193,080 |
| 経常収益合計 | | <u>32,794,808,894</u> |
| 経常損失 | | <u>18,017,062</u> |
| 当期純損失 | | <u>18,017,062</u> |
| 当期総損失 | | <u><u>18,017,062</u></u> |

キャッシュ・フロー計算書
(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

法人単位

(単位:円)

| | |
|--------------------|------------------------------|
| 業務活動によるキャッシュ・フロー | |
| 民事法律扶助立替金の支出 | △ 15,479,368,907 |
| 契約弁護士報酬の支出 | △ 16,193,872,682 |
| 物品又はサービスの購入による支出 | △ 4,213,709,442 |
| 人件費支出 | △ 7,036,197,263 |
| その他業務支出 | △ 20,479,287 |
| 運営費交付金収入 | 16,146,633,000 |
| 政府受託収入 | 15,478,883,767 |
| 民事法律扶助立替金の償還等による収入 | 10,413,969,616 |
| 有償業務による収入 | 333,579,230 |
| 日弁連受託事業による収入 | 2,074,583,005 |
| 寄附金収入 | 61,978,112 |
| その他収入 | <u>131,551,883</u> |
| 小計 | 1,697,551,032 |
| 利息の受取額 | 2,155,508 |
| 利息の支払額 | <u>△ 8,300,233</u> |
| 業務活動によるキャッシュ・フロー | 1,691,406,307 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | |
| 有形固定資産の取得による支出 | △ 53,009,953 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △ 243,769,387 |
| 定期預金の預入による支出 | △ 300,000,000 |
| 定期預金の払戻による収入 | 300,000,000 |
| 敷金・保証金の差入による支出 | △ 7,790,850 |
| 敷金・保証金の返還による収入 | <u>17,596,044</u> |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △ 286,974,146 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | |
| リース債務の返済による支出 | <u>△ 149,774,444</u> |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △ 149,774,444 |
| 資金増加額 | 1,254,657,717 |
| 資金期首残高 | <u>10,114,826,143</u> |
| 資金期末残高 | <u><u>11,369,483,860</u></u> |

行政サービス実施コスト計算書
(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

法人単位

(単位:円)

| | | |
|----------------|------------------|------------------------------|
| 業務費用 | | |
| (1) 損益計算書上の費用 | | |
| 業務費 | 27,891,718,932 | |
| 一般管理費 | 4,912,806,791 | |
| 財務費用 | <u>8,300,233</u> | 32,812,825,956 |
| (2) (控除) 自己収入等 | | |
| 政府受託収益 | △ 15,405,364,066 | |
| 寄附金収益 | △ 61,553,804 | |
| 民事法律扶助事業収益 | △ 904,203,526 | |
| 有償受任事業収益 | △ 330,461,062 | |
| 日弁連受託事業収益 | △ 2,057,870,186 | |
| その他事業収益 | △ 9,566,478 | |
| 財務収益 | △ 2,155,508 | |
| 雑益 | △ 123,193,080 | △ 18,894,367,710 |
| 業務費用合計 | | <u>13,918,458,246</u> |
| 引当外賞与見積額 | | 20,367,769 |
| 引当外退職給付増加見積額 | | 177,468,798 |
| 機会費用 | | |
| 政府出資の機会費用 | <u>1,965,600</u> | 1,965,600 |
| 行政サービス実施コスト | | <u><u>14,118,260,413</u></u> |

(法人単位)

重要な会計方針

1. 運営費交付金収益の計上基準

費用進行基準を採用しております。

これは、被援助者の訴訟代理費用等の立替及び回収が主となる業務の性質上、中期計画及びこれを具体化する年度計画等において、業務の実施と運営費交付金財源との対応関係を示し又は業務の実施と運営費交付金財源とを期間的に対応させることが困難であるためです。

2. 減価償却の会計処理方法

(1) 有形固定資産

定額法を採用しております。

なお、主な資産の耐用年数は以下のとおりであります。

| | |
|--------|--------|
| 建物 | 3年～18年 |
| 車両運搬具 | 2年～6年 |
| 工具器具備品 | 4年～15年 |

(2) 無形固定資産

定額法を採用しております。

なお、法人内利用のソフトウェアについては、法人内における利用可能期間（5年）に基づいております。

3. 賞与に係る引当金及び見積額の計上基準

(一般勘定)

役職員に対して支給する賞与については、運営費交付金により財源措置がなされるため、賞与に係る引当金は計上していません。

行政サービス実施コスト計算書における引当外賞与見積額は、当事業年度末の引当外賞与見積額から前事業年度末の引当外賞与見積額を控除した額を計上しております。

(国選弁護人確保業務勘定)

役職員に対して支給する賞与の支出に充てるため、支給見込額に基づき当期に負担すべき額を計上しております。

4. 退職給付に係る引当金及び見積額の計上基準

(一般勘定)

国又は地方公共団体との交流人事による出向職員であり国又は地方公共団体に復帰することが予定されており、退職手当を支給しないことが国家公務員退職手当法第7条の2及び同施行令第9条の2第124号等において明らかな職員について、退職給付に係る引当金は計上していません。

上記以外の職員の退職一時金については、運営費交付金により財源措置がなされるた

め、退職給付に係る引当金は計上しておりません。

なお、行政サービス実施コスト計算書における引当外退職給付増加見積額のうち、退職一時金に係る債務については、事業年度末に在籍する役職員について、当期末の退職給付見積額から前期末の退職給付見積額を控除した額から、退職者に係る前期末退職給付見積相当額を控除した額を計上しております。

(国選弁護人確保業務勘定)

国又は地方公共団体との交流人事による出向職員であり国又は地方公共団体に復帰することが予定されており、退職手当を支給しないことが国家公務員退職手当法第7条の2及び同施行令第9条の2第124号等において明らかな職員について、退職給付に係る引当金は計上しておりません。

上記以外の職員の退職給付に備えるため、当該事業年度末における退職給付債務を計上しております。また、役員への退職手当の支出に備えるため、内規に基づく期末要支給額を計上しております。なお、数理計算上の差異は、各事業年度の発生時に費用処理することとしております。

なお、行政サービス実施コスト計算書における引当外退職給付増加見積額のうち、退職一時金に係る債務については、事業年度末に在籍する役職員について、当期末の退職給付見積額から前期末の退職給付見積額を控除した額から、退職者に係る前期末退職給付見積相当額を控除した額を計上しております。

5. 貸倒引当金の計上基準

将来の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上しております。

6. たな卸資産の評価基準及び評価方法

先入先出法による低価法を採用しております。

7. 行政サービス実施コスト計算書における機会費用の計上方法

政府出資又は地方公共団体出資等の機会費用の計算に使用した利率
10年利付国債の平成25年3月末利回りを参考に0.560%で計算しております。

8. リース取引の処理方法

リース料総額が300万円以上のファイナンス・リース取引については、通常の売買取引に係る方法に準じた会計処理によっております。

リース料総額が300万円未満のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。

9. 消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は、税込方式によっております。

(法人単位)

注記事項

1. 区分経理関係

総合法律支援法第43条に基づき、同法第30条第1項第3号の業務及びこれに附帯する業務（国選弁護士確保業務勘定）に係る経理と、その他の業務に係る経理（一般勘定）とに区分して整理しております。

2. 貸借対照表関係

(1) 引当外賞与引当金の見積額に関する注記

運営費交付金で財源措置されている職員の賞与引当金の見積額は、243,179,047円であります。

(2) 引当外退職給付引当金の見積額に関する注記

国又は地方公共団体との交流人事による出向職員であり国又は地方公共団体に復帰することが予定されており、退職手当を支給しないことが国家公務員退職手当法第7条の2及び同施行令第9条の2第124号等において明らかな職員並びに運営費交付金で財源措置されている職員の退職給付引当金の見積額は、1,497,129,356円であります。

(3) 資産除去債務に関する注記

①当該資産除去債務の概要

事務所の不動産賃貸借契約に伴う原状回復義務等であります。

②当該資産除去債務の金額の算定方法

使用見込期間を当該契約の契約期間及び建物附属設備の耐用年数（12～15年）と見積り、取得価額に対応する除去費用の実績率を使用して資産除去債務の金額を算定しております。

③当事業年度における当該資産除去債務の総額の増減

| | |
|-----------------|--------------|
| 期首残高 | 218,683,128円 |
| 有形固定資産の取得に伴う増加額 | 9,112,706円 |
| 資産除去債務の履行による減少額 | - |
| 期末残高 | 227,795,834円 |

(4) 債務保証に関する注記

支払保証立担保について被援助者に対して債務保証を行っております。

債務保証額 1,017,355,000円

3. 損益計算書関係

ファイナンス・リース取引及び資産除去債務が損益に与える影響額は、△2,557,610円及び△15,459,452円であり、当該影響額を除いた当期総利益は、0円であります。

4. キャッシュ・フロー計算書関係

キャッシュ・フロー計算書の資金の期末残高と貸借対照表の科目との関係

| | |
|--------|-----------------------|
| 現金及び預金 | 11,469,483,860円 |
| 定期預金 | <u>△ 100,000,000円</u> |
| 資金期末残高 | 11,369,483,860円 |

5. 行政サービス実施コスト計算書関係

引当外退職給付増加見積額のうち国等からの出向職員に係るものの額は、39,438,122円であります。

6. 退職給付関係

(1) 採用している退職給付制度の概要

採用している退職給付制度は、役員及び職員退職一時金制度であります。

(2) 退職給付債務に関する事項

| (区分) | (平成25年3月31日現在) |
|---------|---------------------|
| 退職給付債務 | 402,761,167円 |
| 退職給付引当金 | <u>402,761,167円</u> |

(3) 退職給付費用に関する事項

| (区分) | (自平成24年4月1日 至 平成25年3月31日) |
|-----------------|---------------------------|
| 勤務費用 | 94,848,929円 |
| 利息費用 | 4,771,262円 |
| 数理計算上の差異の費用処理額 | 12,398,564円 |
| 役員に係る退職手当引当金繰入額 | <u>828,768円</u> |
| | 112,847,523円 |

(4) 退職給付債務等の計算の基礎に関する事項

| (区分) | (平成25年3月31日現在) |
|-----------------|----------------|
| ①割引率 | 1.5% |
| ②退職給付見込額の期間配分方法 | 期間定額基準 |
| ③数理計算上の差異 | 発生年度で一括償却 |

7. 重要な債務負担行為

平成25年度以降に係る重要な債務負担行為は、以下のとおりであります。

次世代インフラ・共通基盤に係る保守料 116,445,291円

8. 重要な後発事象

該当事項はありません。

9. 固有の表示科目の内容

民事法律扶助立替金

総合法律支援法第30条第1項第2号及び東日本大震災の被災者に対する援助のための日

本司法支援センターの業務の特例に関する法律（震災特例法）第3条第1項第1号に規定する立替金であります。平成24年4月1日より施行となった震災特例法による立替金は、今年度中に124,242,142円発生し、そのうち8,737,837円が被援助者より償還され、また286,500円が償還免除となった結果、今年度末における残高は、115,217,805円となっております。

10. 金融商品の状況に関する事項

(一般勘定)

当勘定では、資金運用については安全性の高い預金等に限定しております。

また、民事法律扶助業務により発生する立替金及び未収金は、国内の個人に対するものであり、立替先等の契約不履行によってもたらされる信用リスクに晒されております。この信用リスクの管理として、債権管理規程等に従い、償還状況をチェックし、債権ランク付けを行い、滞納者に対する定期的な督促を実施するなど、債権管理に対する体制を整備し運用しております。

(国選弁護人確保業務勘定)

当勘定では、資金運用については安全性の高い預金等に限定しております。

11. 金融商品の時価等に関する事項

期末日における貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。なお、時価を把握することが極めて困難と認められるものは、次表には含めておりません。

(単位：百万円)

| | 貸借対照表計上額 | 時価 | 差額 |
|---------------|----------|---------|-------|
| (1) 現金及び預金 | 11,469 | 11,469 | — |
| (2) 未収金 | 493 | | |
| 貸倒引当金 | △299 | | |
| | 194 | 194 | △0 |
| (3) 民事法律扶助立替金 | 24,679 | | |
| 貸倒引当金 | △16,852 | | |
| | 7,827 | 7,821 | △6 |
| (4) 長期性預金 | 200 | 200 | — |
| (5) 破産更生債権等 | 11,301 | | |
| 貸倒引当金 | △11,301 | | |
| | — | — | — |
| (6) 未払金 | (5,425) | (5,425) | — |
| (7) 預り金 | (377) | (377) | — |
| (8) リース債務 | (136) | (138) | (2) |
| (9) 長期リース債務 | (306) | (291) | (△15) |

(注) 負債に計上されているものは、()で示しております。

(注1) 金融商品の時価の算定方法に関する事項

(1) 現金及び預金、(6) 未払金及び(7) 預り金

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿

価額によっております。

(2) 未収金及び(3) 民事法律扶助立替金

民事法律扶助立替金及び未収金のうち、一般債権については、期間に基づく区分ごとに、債権の合計額を同額の資金を調達した場合に想定される借入れの利率で割り引いて時価を算定しております。また、貸倒懸念債権については、個別に回収可能性を勘案して貸倒見積高を算定しているため、時価は決算日における貸借対照表価額から現在の貸倒見積高を控除した金額に近似しており、当該価額をもって時価としております。

(4) 長期性預金

長期性預金については、当年度末において預け替えとなった定期預金に係るものであるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

(5) 破産更生債権等

破産更生債権等については、個別に回収可能性を勘案して貸倒見積高を算定しているため、時価は決算日における貸借対照表価額から現在の貸倒見積高を控除した金額に近似しており、当該価額をもって時価としております。

(8) リース債務及び(9) 長期リース債務

これらの時価については、元利金の合計額を、新規に同様のリース取引を行った場合に想定される利率で割り引いた現在価値により算定しております。

(注2) 敷金・保証金(貸借対照表計上額 151,353,411 円)は、市場価格がなく、かつ将来キャッシュ・フローを見積もることができず、時価を把握することが極めて困難と認められるため、前表には含めておりません。

(法人単位)
 附属明細書

1 固定資産の取得及び処分並びに減価償却費及び減損損失累計額の明細

(単位:円)

| 資産の種類 | 期首残高 | 当期増加額 | 当期減少額 | 期末残高 | 減価償却累計額 | | 減損損失累計額 | 差引当期末残高 | 摘要 | |
|--------------|---------|------------------|-----------------|-----------------|------------------|---------------|-------------|---------|------------------|------|
| | | | | | 当期償却額 | | | | | |
| 有形 固定資産 | 建物 | 1,160,702,004 | 66,067,121 | 15,221,944 | 1,211,547,181 | 357,715,838 | 70,733,721 | 0 | 853,831,343 | 注1・2 |
| | 車両運搬具 | 8,796,428 | 4,006,277 | 0 | 12,802,705 | 4,728,627 | 3,464,537 | 0 | 8,074,078 | |
| | 工具器具備品 | 1,977,709,094 | 35,129,138 | 45,682,091 | 1,967,156,141 | 1,379,595,346 | 188,188,618 | 0 | 587,560,795 | 注3・4 |
| | 計 | 3,147,207,526 | 105,202,536 | 60,904,035 | 3,191,506,027 | 1,742,039,811 | 262,386,876 | 0 | 1,449,466,216 | |
| 無形 固定資産 | 電話加入権 | 14,800 | 0 | 0 | 14,800 | 0 | 0 | 0 | 14,800 | |
| | ソフトウェア | 1,329,691,905 | 88,740,914 | 0 | 1,418,432,819 | 941,879,427 | 186,862,735 | 0 | 476,553,392 | 注5 |
| | 計 | 1,329,706,705 | 88,740,914 | 0 | 1,418,447,619 | 941,879,427 | 186,862,735 | 0 | 476,568,192 | |
| 投資その他 の資産 | 長期性預金 | 0 | 200,000,000 | 0 | 200,000,000 | 0 | 0 | 0 | 200,000,000 | |
| | 破産更生債権等 | 10,577,461,184 | 1,797,645,205 | 1,074,573,288 | 11,300,533,101 | 0 | 0 | 0 | 11,300,533,101 | 注6・7 |
| | 貸倒引当金 | △ 10,577,461,184 | △ 1,797,645,205 | △ 1,074,573,288 | △ 11,300,533,101 | 0 | 0 | 0 | △ 11,300,533,101 | 注8・9 |
| | 敷金・保証金 | 161,158,605 | 7,790,850 | 17,596,044 | 151,353,411 | 0 | 0 | 0 | 151,353,411 | |
| | 計 | 161,158,605 | 207,790,850 | 17,596,044 | 351,353,411 | 0 | 0 | 0 | 351,353,411 | |

- 注1:建物の主たる増加要因は、鹿児島地方事務所等の移転に伴う新事務所の間仕切り工事及び被災地臨時出張所設置等によるものであります。
 注2:建物の主たる減少要因は、鹿児島地方事務所及び愛知地方事務所三河支部の移転に伴う旧事務所の間仕切り等除去によるものであります。
 注3:工具器具備品の主たる増加要因は、被災地臨時出張所開設に伴うネットワーク構築等及び全国法律事務所用PC端末機器のリース等によるものであります。
 注4:工具器具備品の主たる減少要因は、旧情報管理システムのハードウェア一式の除却によるものであります。
 注5:ソフトウェアの主たる増加要因は、業務管理システムの改修作業によるものであります。
 注6:破産更生債権等の主たる増加原因は、期末時点において民事法律扶助立替金等の債権区分を見直したことによる増加であります。
 注7:破産更生債権等の主たる減少原因は、破産更生債権等に分類されていた民事法律扶助立替金等について償還、償還免除又はみなし消滅したことによる減少であります。
 注8:貸倒引当金の増加原因は、民事法律扶助立替金の増加であります。
 注9:貸倒引当金の減少原因は、民事法律扶助立替金の償還、償還免除及びみなし消滅であります。

2 たな卸資産の明細

(単位:円)

| 種類 | 期首残高 | 当期増加額 | | 当期減少額 | | 期末残高 | 摘要 |
|-----|-----------|---------------|-----|------------|-----|-----------|----|
| | | 当期購入 製造・振替 | その他 | 払出・振替 | その他 | | |
| 貯蔵品 | 9,222,062 | 50,185,265 | 0 | 49,680,560 | 0 | 9,726,767 | |
| 計 | 9,222,062 | 50,185,265 | 0 | 49,680,560 | 0 | 9,726,767 | |

3 引当金の明細

(単位:円)

| 区分 | 期首残高 | 当期増加額 | 当期減少額 | | 期末残高 | 摘要 |
|-------|-------------|-------------|-------------|-----|-------------|----|
| | | | 目的使用 | その他 | | |
| 賞与引当金 | 117,550,840 | 122,937,487 | 117,550,840 | 0 | 122,937,487 | |
| 計 | 117,550,840 | 122,937,487 | 117,550,840 | 0 | 122,937,487 | |

4 民事法律扶助立替金等に対する貸倒引当金の明細

(単位:円)

| 区 分 | | 民事法律扶助立替金等の残高 | | | 貸倒引当金の残高 | | | 摘要 |
|-----------|---------|----------------|---------------|----------------|----------------|---------------|----------------|----|
| | | 期首残高 | 当期増減額 | 期末残高 | 期首残高 | 当期増減額 | 期末残高 | |
| 民事法律扶助立替金 | 一般債権 | 7,599,593,315 | 752,426,730 | 8,352,020,045 | 2,266,748,122 | 171,360,931 | 2,438,109,053 | 注1 |
| | 貸倒懸念債権 | 16,704,753,670 | △ 378,193,852 | 16,326,559,818 | 14,698,416,770 | △ 284,879,570 | 14,413,537,200 | 注2 |
| | 破産更生債権等 | 10,466,313,505 | 687,826,188 | 11,154,139,693 | 10,466,313,505 | 687,826,188 | 11,154,139,693 | 注2 |
| | 小計 | 34,770,660,490 | 1,062,059,066 | 35,832,719,556 | 27,431,478,397 | 574,307,549 | 28,005,785,946 | |
| 未収金 | 一般債権 | 196,878,993 | △ 2,226,858 | 194,652,135 | 33,139,042 | 3,527,037 | 36,666,079 | 注1 |
| | 貸倒懸念債権 | 296,306,657 | 1,655,456 | 297,962,113 | 259,613,886 | 2,284,390 | 261,898,276 | 注2 |
| | 破産更生債権等 | 111,147,679 | 35,245,729 | 146,393,408 | 111,147,679 | 35,245,729 | 146,393,408 | 注2 |
| | 小計 | 604,333,329 | 34,674,327 | 639,007,656 | 403,900,607 | 41,057,156 | 444,957,763 | |
| 合計 | | 35,374,993,819 | 1,096,733,393 | 36,471,727,212 | 27,835,379,004 | 615,364,705 | 28,450,743,709 | |

注1:貸倒実績率によっております。

注2:個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。

5 退職給付引当金の明細

(単位:円)

| 区 分 | 期首残高 | 当期増加額 | 当期減少額 | 期末残高 | 摘要 |
|------------|-------------|-------------|------------|-------------|----|
| 退職給付債務合計額 | 321,172,460 | 112,847,523 | 31,258,816 | 402,761,167 | |
| 退職一時金に係る債務 | 321,172,460 | 112,847,523 | 31,258,816 | 402,761,167 | |
| 退職給付引当金 | 321,172,460 | 112,847,523 | 31,258,816 | 402,761,167 | |

6 資産除去債務の明細

(単位:円)

| 区 分 | 期首残高 | 当期増加額 | 当期減少額 | 期末残高 | 摘要 |
|-----------------------|-------------|-----------|-------|-------------|------------|
| 不動産賃貸契約に基づく 原状回復義務 | 218,683,128 | 9,112,706 | 0 | 227,795,834 | 会計基準第91特定無 |
| 計 | 218,683,128 | 9,112,706 | 0 | 227,795,834 | |

7 保証債務の明細

(単位:円)

| 区 分 | 期首残高 | | 当期増加 | | 当期減少 | | 期末残高 | | 摘要 |
|---------|------|---------------|------|-------------|------|-------------|------|---------------|----|
| | 件数 | 金額 | 件数 | 金額 | 件数 | 金額 | 件数 | 金額 | |
| 支払保証立担保 | 932 | 1,158,158,969 | 587 | 650,469,000 | 632 | 791,272,969 | 887 | 1,017,355,000 | |

8 資本金及び資本剰余金の明細

(単位:円)

| 区 分 | | 期首残高 | 当期増加額 | 当期減少額 | 期末残高 | 摘要 |
|-------|-------|-------------|-------|-------|-------------|----|
| 資本金 | 政府出資金 | 351,000,000 | 0 | 0 | 351,000,000 | |
| | 計 | 351,000,000 | 0 | 0 | 351,000,000 | |
| 資本剰余金 | 無償贈与 | 40,175,280 | 0 | 0 | 40,175,280 | |
| | 計 | 40,175,280 | 0 | 0 | 40,175,280 | |

9 運営費交付金債務及び当期振替額等の明細

(1) 運営費交付金債務の増減の明細

(単位:円)

| 交付年度 | 期首残高 | 交付金当期 交付額 | 当期回収運 営費交付金 | 当期振替額 | | | | 期末残高 |
|------|---------------|----------------|----------------|---------------|----------------|-------|----------------|---------------|
| | | | | 運営費交付 金収益 | 資産見返運 営費交付金 | 資本剰余金 | 計 | |
| 23年度 | 3,307,994,907 | 0 | 0 | 3,307,994,907 | 0 | 0 | 3,307,994,907 | 0 |
| 24年度 | 0 | 16,146,633,000 | 0 | 5,358,677,342 | 5,596,482,395 | 0 | 10,955,159,737 | 5,191,473,263 |
| 合 計 | 3,307,994,907 | 16,146,633,000 | 0 | 8,666,672,249 | 5,596,482,395 | 0 | 14,263,154,644 | 5,191,473,263 |

(2) 運営費交付金債務の当期振替額の明細

① 23年度交付分

(単位:円)

| 区 分 | | 金 額 | 内 訳 | |
|------------------|------------|---------------|----------------------------------|--|
| 業務達成基準 による振替額 | 運営費交付金収益 | 0 | (業務達成基準を採用した業務はありません) | |
| | 資産見返運営費交付金 | 0 | | |
| | 資本剰余金 | 0 | | |
| | 計 | 0 | | |
| 期間進行基準 による振替額 | 運営費交付金収益 | 0 | (期間進行基準を採用した業務はありません) | |
| | 資産見返運営費交付金 | 0 | | |
| | 資本剰余金 | 0 | | |
| | 計 | 0 | | |
| 費用進行基準 による振替額 | 運営費交付金収益 | 3,307,994,907 | ①費用進行基準を採用した業務:全ての業務 | |
| | 資産見返運営費交付金 | 0 | ②当該業務に係る損益等 ア) 損益計算書に計上した経常費用 | |
| | 資本剰余金 | 0 | ③運営費交付金の振替額の積算根拠 | |
| | 計 | 3,307,994,907 | 運営費交付金収益=ア) = 3,307,994,907 | |
| 合 計 | | 3,307,994,907 | | |

| 区 分 | | 金 額 | 内 訳 |
|------------------|------------|----------------|--|
| 業務達成基準 による振替額 | 運営費交付金収益 | 0 | (業務達成基準を採用した業務はありません) |
| | 資産見返運営費交付金 | 0 | |
| | 資本剰余金 | 0 | |
| | 計 | 0 | |
| 期間進行基準 による振替額 | 運営費交付金収益 | 0 | (期間進行基準を採用した業務はありません) |
| | 資産見返運営費交付金 | 0 | |
| | 資本剰余金 | 0 | |
| | 計 | 0 | |
| 費用進行基準 による振替額 | 運営費交付金収益 | 5,358,677,342 | ①費用進行基準を採用した業務：全ての業務 ②当該業務に係る損益等 ア) 損益計算書に計上した経常費用及び臨時損失 14,067,723,599 イ) 損益計算書に計上した資産見返負債戻入 運営費交付金を財源とする固定資産の減価償却費の額 237,668,537 資産見返物品受贈額を財源とする固定資産の減価償却費の額 1,253,760 運営費交付金を財源とする固定資産の除却損の額 10,644,506 資産見返物品受贈額を財源とする固定資産の除却損の額 2,191,431 運営費交付金を財源とする貸倒引当金繰入及び貸倒損失の額 4,982,010,701 計 5,233,768,935 ウ) 損益計算書に計上した自己収入 民事法律扶助事業収益 904,203,526 有償受任事業収益 330,461,062 日弁連受託事業収益 2,057,870,186 寄附金収益 61,553,804 財務収益 2,155,508 その他事業収益 9,566,478 雑益 93,568,177 計 3,459,378,741 エ) ファイナンス・リースの会計処理が損益に与える影響額 △ 1,813,643 オ) 資産除去債務の会計処理が損益に与える影響額 △ 14,084,938 カ) 民事法律扶助立替金への運営費交付金投入額(純額) 5,469,762,218 キ) 償却性固定資産への運営費交付金投入額 126,720,177 ③運営費交付金の振替額の積算根拠 運営費交付金収益＝ア)－イ)－ウ)＋エ)＋オ)＝ 5,358,677,342 資産見返運営費交付金＝カ)＋キ)＝ 5,596,482,395 |
| | 資産見返運営費交付金 | 5,596,482,395 | |
| | 資本剰余金 | 0 | |
| | 計 | 10,955,159,737 | |
| | 合 計 | 10,955,159,737 | |

(3) 運営費交付金債務残高の明細

(単位:円)

| 交付年度 | 運営費交付金債務残高 | | 残高の発生理由及び収益化等の計画 |
|------|-------------------|---------------|--|
| 24年度 | 業務達成基準を採用した業務に係る分 | 0 | (業務達成基準を採用した業務はありません) |
| | 期間進行基準を採用した業務に係る分 | 0 | (期間進行基準を採用した業務はありません) |
| | 費用進行基準を採用した業務に係る分 | 5,191,473,263 | ○費用進行基準を採用した業務は、一般勘定の全ての業務であります。 ○運営費交付金債務残高の発生理由は、民事法律扶助の代理援助実績が少なかったこと及び資金の効率的な運用と経費の削減が行われたためであります。 (注:運営費交付金の収益化については、自己収入を優先的に充てることとしております。) ○翌事業年度に繰り越した運営費交付金債務残高については、翌事業年度において収益化等する予定であります。 |
| | 計 | 5,191,473,263 | |

10 役員及び職員の給与の明細

(単位:千円、人)

| 区分 | 報酬又は給与 | | 退職手当 | |
|----|-----------------------|-----------|------------|--------|
| | 支給額 | 支給人員 | 支給額 | 支給人員 |
| 役員 | 29,751 (18,060) | 2 (5) | - (-) | - (-) |
| 職員 | 4,760,462 (1,319,820) | 928 (980) | 97,684 (-) | 82 (-) |
| 合計 | 4,790,213 (1,337,880) | 930 (985) | 97,684 (-) | 82 (-) |

① 役員に対する報酬等の支給基準の概要

役員に対する報酬及び退職手当については日本司法支援センター役員報酬規程(平成24年規程第16号)及び日本司法支援センター役員退職手当規程(平成18年規程第3号)に基づき支給しております。

② 職員に対する給与等の支給基準の概要

職員に対する給与及び退職手当については日本司法支援センター職員給与規程(平成23年規程第10号)及び日本司法支援センター職員退職手当規程(平成22年規程第37号)に基づき支給しております。

③ 支給人員数は年間平均支給人員数を記載しております。

④ 非常勤の役員及び職員は、外数として括弧書きしております。

⑤ 損益計算書の人件費には人材派遣費24,147,968円を含まないため、中期計画に定める予算上の人件費とは異なっております。

11 上記以外の主な資産、負債、費用及び収益の明細

(1) 現金及び預金の明細

(単位:円)

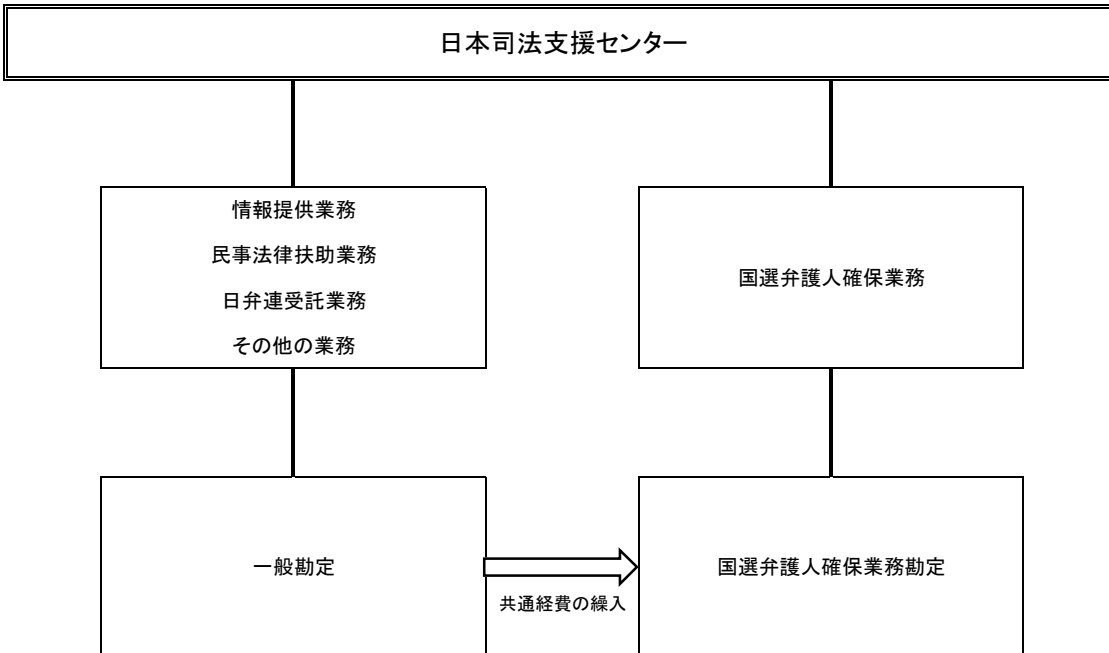
| 内 訳 | 金 額 |
|------|----------------|
| 現 金 | 14,173,789 |
| 普通預金 | 11,355,310,071 |
| 定期預金 | 100,000,000 |
| 計 | 11,469,483,860 |

(2) 未払金の明細

(単位:円)

| 内 訳 | 金 額 |
|----------------------|---------------|
| 民事法律扶助立替の未払金 | 2,294,724,850 |
| 国選弁護士契約弁護士報酬の未払金 | 1,909,508,491 |
| 国選委託費の国庫への返還分未払金 | 117,996,934 |
| 人件費の未払金 | 282,428,646 |
| 日弁連委託援助業務委託事業費精算の未払金 | 140,104,757 |
| 日弁連委託業務報酬の未払金 | 175,599,599 |
| 固定資産の当期取得 | 45,565,541 |
| 民事法律扶助相談費用の未払金 | 153,923,030 |
| その他の未払金 | 304,924,929 |
| 計 | 5,424,776,777 |

12 各勘定の経理と対象と勘定相互間の関係を明らかにする書類



13 法人単位財務諸表と各勘定財務諸表の関係を明らかにする書類

(1) 貸借対照表

(単位:円)

| 科目 | 一般勘定 | 国選弁護人確保業務勘定 | 調整 | 法人単位 |
|----------------------|------------------|-----------------|----|------------------|
| 資産の部 | | | | |
| 流動資産 | | | | |
| 現金及び預金 | 8,841,908,770 | 2,627,575,090 | | 11,469,483,860 |
| 貯蔵品 | 7,146,933 | 2,579,834 | | 9,726,767 |
| 前払費用 | 92,534,850 | 35,819,942 | | 128,354,792 |
| 未収金 | 491,723,450 | 890,798 | | 492,614,248 |
| 貸倒引当金 | △ 298,564,355 | | | △ 298,564,355 |
| 民事法律扶助立替金 | 24,678,579,863 | | | 24,678,579,863 |
| 貸倒引当金 | △ 16,851,646,253 | | | △ 16,851,646,253 |
| 流動資産合計 | 16,961,683,258 | 2,666,865,664 | | 19,628,548,922 |
| 固定資産 | | | | |
| 有形固定資産 | | | | |
| 建物 | 1,104,302,010 | 107,245,171 | | 1,211,547,181 |
| 建物減価償却累計額 | △ 324,051,111 | △ 33,664,727 | | △ 357,715,838 |
| 車両運搬具 | 11,761,073 | 1,041,632 | | 12,802,705 |
| 車両運搬具減価償却累計額 | △ 4,659,185 | △ 69,442 | | △ 4,728,627 |
| 工具器具備品 | 1,513,604,104 | 453,552,037 | | 1,967,156,141 |
| 工具器具備品減価償却累計額 | △ 1,046,839,310 | △ 332,756,036 | | △ 1,379,595,346 |
| 有形固定資産合計 | 1,254,117,581 | 195,348,635 | | 1,449,466,216 |
| 無形固定資産 | | | | |
| 電話加入権 | 10,952 | 3,848 | | 14,800 |
| ソフトウェア | 399,544,249 | 77,009,143 | | 476,553,392 |
| 無形固定資産合計 | 399,555,201 | 77,012,991 | | 476,568,192 |
| 投資その他の資産 | | | | |
| 長期性預金 | 200,000,000 | | | 200,000,000 |
| 破産更生債権等 | 11,300,533,101 | | | 11,300,533,101 |
| 貸倒引当金 | △ 11,300,533,101 | | | △ 11,300,533,101 |
| 敷金・保証金 | 151,353,411 | | | 151,353,411 |
| 投資その他の資産合計 | 351,353,411 | | | 351,353,411 |
| 固定資産合計 | 2,005,026,193 | 272,361,626 | | 2,277,387,819 |
| 資産合計 | 18,966,709,451 | 2,939,227,290 | | 21,905,936,741 |
| 負債の部 | | | | |
| 流動負債 | | | | |
| 運営費交付金債務 | 5,191,473,263 | | | 5,191,473,263 |
| 預り寄附金 | 49,015,208 | | | 49,015,208 |
| 未払金 | 3,260,095,374 | 2,164,681,403 | | 5,424,776,777 |
| 未払費用 | 6,154,563 | 2,014,547 | | 8,169,110 |
| 前受金 | 314,294,674 | | | 314,294,674 |
| 預り金 | 258,883,456 | 117,925,647 | | 376,809,103 |
| 前受収益 | 1,824,855 | 641,165 | | 2,466,020 |
| リース債務 | 101,959,686 | 34,398,813 | | 136,358,499 |
| 引当金 | | | | |
| 賞与引当金 | | 122,937,487 | | 122,937,487 |
| 流動負債合計 | 9,183,701,079 | 2,442,599,062 | | 11,626,300,141 |
| 固定負債 | | | | |
| 資産見返負債 | | | | |
| 資産見返運営費交付金 | 9,006,071,654 | | | 9,006,071,654 |
| 資産見返物品受贈額 | 9,727,443 | | | 9,727,443 |
| 長期預り寄附金 | 5,982,060 | | | 5,982,060 |
| 長期リース債務 | 227,340,648 | 79,179,921 | | 306,520,569 |
| 引当金 | | | | |
| 退職給付引当金 | | 402,761,167 | | 402,761,167 |
| 資産除去債務 | | | | |
| 資産除去債務 | 207,318,933 | 20,476,901 | | 227,795,834 |
| 固定負債合計 | 9,456,440,738 | 502,417,989 | | 9,958,858,727 |
| 負債合計 | 18,640,141,817 | 2,945,017,051 | | 21,585,158,868 |
| 純資産の部 | | | | |
| 資本金 | | | | |
| 政府出資金 | 351,000,000 | | | 351,000,000 |
| 資本金合計 | 351,000,000 | | | 351,000,000 |
| 資本剰余金 | | | | |
| 資本剰余金 | 40,175,280 | | | 40,175,280 |
| 資本剰余金合計 | 40,175,280 | | | 40,175,280 |
| 利益剰余金(△繰越欠損金) | | | | |
| 当期未処分利益(△当期未処理損失) | △ 64,607,646 | △ 5,789,761 | | △ 70,397,407 |
| (うち当期総利益)(△当期総損失) | (△ 15,898,581) | (△ 2,118,481) | | (△ 18,017,062) |
| 利益剰余金合計(△繰越欠損金合計) | △ 64,607,646 | △ 5,789,761 | | △ 70,397,407 |
| 純資産合計 | 326,567,634 | △ 5,789,761 | | 320,777,873 |
| 負債及び純資産合計 | 18,966,709,451 | 2,939,227,290 | | 21,905,936,741 |

(2) 損益計算書

(単位:円)

| 科目 | 一般勘定 | 国選弁護士確保業務勘定 | 調整 | 法人単位 |
|-----------------|----------------|----------------|---------------|----------------|
| 経常費用 | | | | |
| 業務費 | | | | |
| 契約弁護士報酬 | 3,573,775,467 | 12,647,222,785 | | 16,220,998,252 |
| 人件費 | 3,928,978,676 | 1,712,796,424 | | 5,641,775,100 |
| 貸倒引当金繰入額 | 4,581,085,859 | | | 4,581,085,859 |
| 減価償却費 | 86,991,660 | 5,878,463 | | 92,870,123 |
| その他 | 1,185,721,393 | 169,268,205 | | 1,354,989,598 |
| 一般管理費 | | | | |
| 什器備品費 | 16,828,398 | 1,867,115 | | 18,695,513 |
| 不動産賃借料 | 1,125,530,254 | 474,485,695 | | 1,600,015,949 |
| 通信運搬費 | 184,444,570 | 64,269,373 | | 248,713,943 |
| 広告宣伝費 | 78,246,522 | 20,877,479 | | 99,124,001 |
| 人件費 | 978,960,803 | 499,351,204 | | 1,478,312,007 |
| 減価償却費 | 279,051,136 | 77,328,352 | | 356,379,488 |
| その他 | 842,367,031 | 269,198,859 | | 1,111,565,890 |
| 財務費用 | | | | |
| 支払利息 | 6,176,002 | 2,124,231 | | 8,300,233 |
| 国選弁護士確保業務勘定への繰入 | 507,560,735 | | △ 507,560,735 | 0 |
| 経常費用合計 | 17,375,718,506 | 15,944,668,185 | △ 507,560,735 | 32,812,825,956 |
| 経常収益 | | | | |
| 運営費交付金収益 | 8,666,672,249 | | | 8,666,672,249 |
| 政府受託収益 | | 15,405,364,066 | | 15,405,364,066 |
| 寄附金収益 | 61,553,804 | | | 61,553,804 |
| 民事法律扶助事業収益 | 904,203,526 | | | 904,203,526 |
| 有償受任事業収益 | 330,461,062 | | | 330,461,062 |
| 日弁連受託事業収益 | 2,057,870,186 | | | 2,057,870,186 |
| その他事業収益 | 9,566,478 | | | 9,566,478 |
| 資産見返負債戻入 | | | | |
| 資産見返運営費交付金戻入 | 5,230,323,744 | | | 5,230,323,744 |
| 資産見返物品受贈額戻入 | 3,445,191 | | | 3,445,191 |
| 財務収益 | | | | |
| 受取利息 | 2,155,508 | | | 2,155,508 |
| 雑益 | 93,568,177 | 29,624,903 | | 123,193,080 |
| 一般勘定からの受入 | | 507,560,735 | △ 507,560,735 | 0 |
| 経常収益合計 | 17,359,819,925 | 15,942,549,704 | △ 507,560,735 | 32,794,808,894 |
| 経常利益(△経常損失) | △ 15,898,581 | △ 2,118,481 | | △ 18,017,062 |
| 当期純利益(△当期純損失) | △ 15,898,581 | △ 2,118,481 | | △ 18,017,062 |
| 当期総利益(△当期総損失) | △ 15,898,581 | △ 2,118,481 | | △ 18,017,062 |

(3) キャッシュ・フロー計算書

(単位:円)

| 科目 | 一般勘定 | 国選弁護士確保業務勘定 | 調整 | 法人単位 |
|--------------------|------------------|------------------|---------------|------------------|
| 業務活動によるキャッシュ・フロー | | | | |
| 民事法律扶助立替金の支出 | △ 15,479,368,907 | | | △ 15,479,368,907 |
| 契約弁護士報酬の支出 | △ 3,543,375,692 | △ 12,650,496,990 | | △ 16,193,872,682 |
| 物品又はサービスの購入による支出 | △ 3,146,935,416 | △ 1,066,774,026 | | △ 4,213,709,442 |
| 人件費支出 | △ 4,909,433,440 | △ 2,126,763,823 | | △ 7,036,197,263 |
| 国選弁護士確保業務勘定への繰入 | △ 507,560,735 | | 507,560,735 | 0 |
| その他業務支出 | △ 18,292,058 | △ 2,187,229 | | △ 20,479,287 |
| 運営費交付金収入 | 16,146,633,000 | | | 16,146,633,000 |
| 政府受託収入 | | 15,478,883,767 | | 15,478,883,767 |
| 一般勘定からの受入 | | 507,560,735 | △ 507,560,735 | 0 |
| 民事法律扶助立替金の償還等による収入 | 10,413,969,616 | | | 10,413,969,616 |
| 有償業務による収入 | 333,579,230 | | | 333,579,230 |
| 日弁連受託事業による収入 | 2,074,583,005 | | | 2,074,583,005 |
| 寄附金収入 | 61,978,112 | | | 61,978,112 |
| その他収入 | 101,629,008 | 29,922,875 | | 131,551,883 |
| 小計 | 1,527,405,723 | 170,145,309 | | 1,697,551,032 |
| 利息の受取額 | 2,155,508 | | | 2,155,508 |
| 利息の支払額 | △ 6,176,002 | △ 2,124,231 | | △ 8,300,233 |
| 業務活動によるキャッシュ・フロー | 1,523,385,229 | 168,021,078 | | 1,691,406,307 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | | | |
| 有形固定資産の取得による支出 | △ 49,117,103 | △ 3,892,850 | | △ 53,009,953 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △ 216,398,505 | △ 27,370,882 | | △ 243,769,387 |
| 定期預金の預入による支出 | △ 300,000,000 | | | △ 300,000,000 |
| 定期預金の払戻による収入 | 300,000,000 | | | 300,000,000 |
| 敷金・保証金の差入による支出 | △ 7,790,850 | | | △ 7,790,850 |
| 敷金・保証金の返還による収入 | 17,596,044 | | | 17,596,044 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △ 255,710,414 | △ 31,263,732 | | △ 286,974,146 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | | | |
| リース債務の返済による支出 | △ 111,890,166 | △ 37,884,278 | | △ 149,774,444 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △ 111,890,166 | △ 37,884,278 | | △ 149,774,444 |
| 資金増加額(△資金減少額) | 1,155,784,649 | 98,873,068 | | 1,254,657,717 |
| 資金期首残高 | 7,586,124,121 | 2,528,702,022 | | 10,114,826,143 |
| 資金期末残高 | 8,741,908,770 | 2,627,575,090 | | 11,369,483,860 |

(4) 行政サービス実施コスト計算書

(単位:円)

| 科目 | 一般勘定 | 国選弁護士確保業務勘定 | 調整 | 法人単位 |
|----------------|-----------------|------------------|----|------------------|
| 業務費用 | | | | |
| (1) 損益計算書上の費用 | | | | |
| 業務費 | 13,356,553,055 | 14,535,165,877 | | 27,891,718,932 |
| 一般管理費 | 3,505,428,714 | 1,407,378,077 | | 4,912,806,791 |
| 財務費用 | 6,176,002 | 2,124,231 | | 8,300,233 |
| (2) (控除) 自己収入等 | | | | |
| 政府受託収益 | | △ 15,405,364,066 | | △ 15,405,364,066 |
| 寄附金収益 | △ 61,553,804 | | | △ 61,553,804 |
| 民事法律扶助事業収益 | △ 904,203,526 | | | △ 904,203,526 |
| 有償受任事業収益 | △ 330,461,062 | | | △ 330,461,062 |
| 日弁連受託事業収益 | △ 2,057,870,186 | | | △ 2,057,870,186 |
| その他事業収益 | △ 9,566,478 | | | △ 9,566,478 |
| 財務収益 | △ 2,155,508 | | | △ 2,155,508 |
| 雑益 | △ 93,568,177 | △ 29,624,903 | | △ 123,193,080 |
| 業務費用合計 | 13,408,779,030 | 509,679,216 | | 13,918,458,246 |
| 引当外賞与見積額 | 20,367,769 | | | 20,367,769 |
| 引当外退職給付増加見積額 | 164,848,599 | 12,620,199 | | 177,468,798 |
| 機会費用 | | | | |
| 政府出資の機会費用 | 1,965,600 | | | 1,965,600 |
| 行政サービス実施コスト | 13,595,960,998 | 522,299,415 | | 14,118,260,413 |

14 利益の処分又は損失の処理に関する書類

(単位:円)

| 科目 | 一般勘定 | 国選弁護士確保業務勘定 | 合計 |
|-------------------|--------------|-------------|--------------|
| 当期末処分利益(△当期末処理損失) | △ 64,607,646 | △ 5,789,761 | △ 70,397,407 |
| 当期総利益(△当期総損失) | △ 15,898,581 | △ 2,118,481 | △ 18,017,062 |
| 前期繰越欠損金 | △ 48,709,065 | △ 3,671,280 | △ 52,380,345 |
| 利益処分類 | | | |
| 次期繰越欠損金 | △ 64,607,646 | △ 5,789,761 | △ 70,397,407 |

15 相殺消去された勘定相互間の損益取引に係る費用と収益及びキャッシュ・フローの内訳

(単位:円)

| 科目 | 一般勘定 | 国選弁護士確保業務勘定 | 合計 |
|-----------------|-------------|-------------|-------------|
| 国選弁護士確保業務勘定への繰入 | 507,560,735 | | 507,560,735 |
| 一般勘定からの受入 | | 507,560,735 | 507,560,735 |

【 一 般 勘 定 】

貸借対照表
(平成25年3月31日)

(単位:円)

| | | | |
|---------------|------------------|---------------|----------------|
| 一般勘定 | | | |
| 資産の部 | | | |
| 流動資産 | | | |
| 現金及び預金 | | 8,841,908,770 | |
| 貯蔵品 | | 7,146,933 | |
| 前払費用 | | 92,534,850 | |
| 未収金 | 491,723,450 | | |
| 貸倒引当金 | △ 298,564,355 | 193,159,095 | |
| 民事法律扶助立替金 | 24,678,579,863 | | |
| 貸倒引当金 | △ 16,851,646,253 | 7,826,933,610 | |
| 流動資産合計 | | | 16,961,683,258 |
| 固定資産 | | | |
| 有形固定資産 | | | |
| 建物 | 1,104,302,010 | | |
| 建物減価償却累計額 | △ 324,051,111 | 780,250,899 | |
| 車両運搬具 | 11,761,073 | | |
| 車両運搬具減価償却累計額 | △ 4,659,185 | 7,101,888 | |
| 工具器具備品 | 1,513,604,104 | | |
| 工具器具備品減価償却累計額 | △ 1,046,839,310 | 466,764,794 | |
| 有形固定資産合計 | | 1,254,117,581 | |
| 無形固定資産 | | | |
| 電話加入権 | | 10,952 | |
| ソフトウェア | | 399,544,249 | |
| 無形固定資産合計 | | 399,555,201 | |
| 投資その他の資産 | | | |
| 長期性預金 | | 200,000,000 | |
| 破産更生債権等 | 11,300,533,101 | | |
| 貸倒引当金 | △ 11,300,533,101 | 0 | |
| 敷金・保証金 | | 151,353,411 | |
| 投資その他の資産合計 | | 351,353,411 | |
| 固定資産合計 | | | 2,005,026,193 |
| 資産合計 | | | 18,966,709,451 |
| 負債の部 | | | |
| 流動負債 | | | |
| 運営費交付金債務 | | 5,191,473,263 | |
| 預り寄附金 | | 49,015,208 | |
| 未払金 | | 3,260,095,374 | |
| 未払費用 | | 6,154,563 | |
| 前受金 | | 314,294,674 | |
| 預り金 | | 258,883,456 | |
| 前受収益 | | 1,824,855 | |
| リース債務 | | 101,959,686 | |
| 流動負債合計 | | | 9,183,701,079 |
| 固定負債 | | | |
| 資産見返負債 | | | |
| 資産見返運営費交付金 | 9,006,071,654 | | |
| 資産見返物品受贈額 | 9,727,443 | 9,015,799,097 | |
| 長期預り寄附金 | | 5,982,060 | |
| 長期リース債務 | | 227,340,648 | |
| 資産除去債務 | | 207,318,933 | |
| 固定負債合計 | | | 9,456,440,738 |
| 負債合計 | | | 18,640,141,817 |
| 純資産の部 | | | |
| 資本金 | | | |
| 政府出資金 | | 351,000,000 | |
| 資本金合計 | | | 351,000,000 |
| 資本剰余金 | | | |
| 資本剰余金 | | 40,175,280 | |
| 資本剰余金合計 | | | 40,175,280 |
| 繰越欠損金 | | | |
| 当期末処理損失 | | 64,607,646 | |
| (うち当期総損失) | (| 15,898,581) | |
| 繰越欠損金合計 | | | 64,607,646 |
| 純資産合計 | | | 326,567,634 |
| 負債及び純資産合計 | | | 18,966,709,451 |

損益計算書
(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

一般勘定

(単位:円)

| | | |
|-----------------|---------------|----------------|
| 経常費用 | | |
| 業務費 | | |
| 契約弁護士報酬 | 3,573,775,467 | |
| 人件費 | 3,928,978,676 | |
| 貸倒引当金繰入額 | 4,581,085,859 | |
| 減価償却費 | 86,991,660 | |
| その他 | 1,185,721,393 | 13,356,553,055 |
| 一般管理費 | | |
| 什器備品費 | 16,828,398 | |
| 不動産賃借料 | 1,125,530,254 | |
| 通信運搬費 | 184,444,570 | |
| 広告宣伝費 | 78,246,522 | |
| 人件費 | 978,960,803 | |
| 減価償却費 | 279,051,136 | |
| その他 | 842,367,031 | 3,505,428,714 |
| 財務費用 | | |
| 支払利息 | 6,176,002 | 6,176,002 |
| 国選弁護士確保業務勘定への繰入 | | 507,560,735 |
| 経常費用合計 | | 17,375,718,506 |
| 経常収益 | | |
| 運営費交付金収益 | 8,666,672,249 | |
| 寄附金収益 | 61,553,804 | |
| 民事法律扶助事業収益 | 904,203,526 | |
| 有償受任事業収益 | 330,461,062 | |
| 日弁連受託事業収益 | 2,057,870,186 | |
| その他事業収益 | 9,566,478 | 12,030,327,305 |
| 資産見返負債戻入 | | |
| 資産見返運営費交付金戻入 | 5,230,323,744 | |
| 資産見返物品受贈額戻入 | 3,445,191 | 5,233,768,935 |
| 財務収益 | | |
| 受取利息 | 2,155,508 | 2,155,508 |
| 雑益 | | |
| 経常収益合計 | | 17,359,819,925 |
| 経常損失 | | 15,898,581 |
| 当期純損失 | | 15,898,581 |
| 当期総損失 | | 15,898,581 |

キャッシュ・フロー計算書
(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

一般勘定

(単位:円)

| | |
|--------------------|-----------------------------|
| 業務活動によるキャッシュ・フロー | |
| 民事法律扶助立替金の支出 | △ 15,479,368,907 |
| 契約弁護士報酬の支出 | △ 3,543,375,692 |
| 物品又はサービスの購入による支出 | △ 3,146,935,416 |
| 人件費支出 | △ 4,909,433,440 |
| 国選弁護士確保業務勘定への繰入 | △ 507,560,735 |
| その他業務支出 | △ 18,292,058 |
| 運営費交付金収入 | 16,146,633,000 |
| 民事法律扶助立替金の償還等による収入 | 10,413,969,616 |
| 有償業務による収入 | 333,579,230 |
| 日弁連受託事業による収入 | 2,074,583,005 |
| 寄附金収入 | 61,978,112 |
| その他収入 | <u>101,629,008</u> |
| 小計 | 1,527,405,723 |
| 利息の受取額 | 2,155,508 |
| 利息の支払額 | <u>△ 6,176,002</u> |
| 業務活動によるキャッシュ・フロー | 1,523,385,229 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | |
| 有形固定資産の取得による支出 | △ 49,117,103 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △ 216,398,505 |
| 定期預金の預入による支出 | △ 300,000,000 |
| 定期預金の払戻による収入 | 300,000,000 |
| 敷金・保証金の差入による支出 | △ 7,790,850 |
| 敷金・保証金の返還による収入 | <u>17,596,044</u> |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △ 255,710,414 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | |
| リース債務の返済による支出 | <u>△ 111,890,166</u> |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △ 111,890,166 |
| 資金増加額 | 1,155,784,649 |
| 資金期首残高 | <u>7,586,124,121</u> |
| 資金期末残高 | <u><u>8,741,908,770</u></u> |

損失の処理に関する書類

一般勘定

(単位:円)

| | | |
|---------|-------------------|--------------------------|
| 当期未処理損失 | | <u>64,607,646</u> |
| 当期総損失 | 15,898,581 | |
| 前期繰越欠損金 | <u>48,709,065</u> | |
| 次期繰越欠損金 | | <u><u>64,607,646</u></u> |

行政サービス実施コスト計算書
(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

一般勘定

(単位:円)

| | | |
|--------------------|-----------------|-----------------|
| 業務費用 | | |
| (1) 損益計算書上の費用 | | |
| 業務費 | 13,356,553,055 | |
| 一般管理費 | 3,505,428,714 | |
| 財務費用 | 6,176,002 | 16,868,157,771 |
| (2) (控除) 自己収入等 | | |
| 寄附金収益 | △ 61,553,804 | |
| 民事法律扶助事業収益 | △ 904,203,526 | |
| 有償受任事業収益 | △ 330,461,062 | |
| 日弁連受託事業収益 | △ 2,057,870,186 | |
| その他事業収益 | △ 9,566,478 | |
| 財務収益 | △ 2,155,508 | |
| 雑益 | △ 93,568,177 | △ 3,459,378,741 |
| 業務費用合計 | | 13,408,779,030 |
| 引当外賞与見積額 | | |
| | | 20,367,769 |
| 引当外退職給付増加見積額 | | |
| | | 164,848,599 |
| 機会費用 | | |
| 政府出資の機会費用 | 1,965,600 | 1,965,600 |
| 行政サービス実施コスト | | |
| | | 13,595,960,998 |

(一般勘定)

重要な会計方針

1. 運営費交付金収益の計上基準

費用進行基準を採用しております。

これは、被援助者の訴訟代理費用等の立替及び回収が主となる業務の性質上、中期計画及びこれを具体化する年度計画等において、業務の実施と運営費交付金財源との対応関係を示し又は業務の実施と運営費交付金財源とを期間的に対応させることが困難であるためです。

2. 減価償却の会計処理方法

(1) 有形固定資産

定額法を採用しております。

なお、主な資産の耐用年数は以下のとおりであります。

| | |
|--------|--------|
| 建物 | 3年～18年 |
| 車両運搬具 | 2年～3年 |
| 工具器具備品 | 4年～15年 |

(2) 無形固定資産

定額法を採用しております。

なお、法人内利用のソフトウェアについては、法人内における利用可能期間（5年）に基づいております。

3. 賞与に係る引当金及び見積額の計上基準

役職員に対して支給する賞与については、運営費交付金により財源措置がなされるため、賞与に係る引当金は計上しておりません。

行政サービス実施コスト計算書における引当外賞与見積額は、当事業年度末の引当外賞与見積額から前事業年度末の引当外賞与見積額を控除した額を計上しております。

4. 退職給付に係る引当金及び見積額の計上基準

国又は地方公共団体との交流人事による出向職員であり国又は地方公共団体に復帰することが予定されており、退職手当を支給しないことが国家公務員退職手当法第7条の2及び同施行令第9条の2第124号等において明らかな職員について、退職給付に係る引当金は計上しておりません。

上記以外の職員の退職一時金については、運営費交付金により財源措置がなされるため、退職給付に係る引当金は計上しておりません。

なお、行政サービス実施コスト計算書における引当外退職給付増加見積額のうち、退職一時金に係る債務については、事業年度末に在籍する役職員について、当期末の退職給付見積額から前期末の退職給付見積額を控除した額から、退職者に係る前期末退職給付見積相当額を控除した額を計上しております。

5. 貸倒引当金の計上基準

将来の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上しております。

6. たな卸資産の評価基準及び評価方法

先入先出法による低価法を採用しております。

7. 行政サービス実施コスト計算書における機会費用の計上方法

政府出資又は地方公共団体出資等の機会費用の計算に使用した利率

10年利付国債の平成25年3月末利回りを参考に0.560%で計算しております。

8. リース取引の処理方法

リース料総額が300万円以上のファイナンス・リース取引については、通常の売買取引に係る方法に準じた会計処理によっております。

リース料総額が300万円未満のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。

9. 消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は、税込方式によっております。

(一般勘定)

注記事項

1. 区分経理関係

総合法律支援法第43条に基づき、同法第30条第1項第3号の業務及びこれに附帯する業務（国選弁護人確保業務勘定）に係る経理と、その他の業務に係る経理（一般勘定）とに区分して整理しております。

2. 貸借対照表関係

(1) 引当外賞与引当金の見積額に関する注記

運営費交付金で財源措置されている職員の賞与引当金の見積額は、243,179,047円です。

(2) 引当外退職給付引当金の見積額に関する注記

国又は地方公共団体との交流人事による出向職員であり国又は地方公共団体に復帰することが予定されており、退職手当を支給しないことが国家公務員退職手当法第7条の2及び同施行令第9条の2第124号等において明らかな職員並びに運営費交付金で財源措置されている職員の退職給付引当金の見積額は、1,291,925,556円です。

(3) 資産除去債務に関する注記

①当該資産除去債務の概要

事務所の不動産賃貸借契約に伴う原状回復義務等です。

②当該資産除去債務の金額の算定方法

使用見込期間を当該契約の契約期間及び建物附属設備の耐用年数（12～15年）と見積り、取得価額に対応する除去費用の実績率を使用して資産除去債務の金額を算定しております。

③当事業年度における当該資産除去債務の総額の増減

| | |
|-----------------|--------------|
| 期首残高 | 198,463,443円 |
| 有形固定資産の取得に伴う増加額 | 8,855,490円 |
| 資産除去債務の履行による減少額 | - |
| 期末残高 | 207,318,933円 |

(4) 債務保証に関する注記

支払保証立担保について被援助者に対して債務保証を行っております。

債務保証額 1,017,355,000円

3. 損益計算書関係

ファイナンス・リース取引及び資産除去債務が損益に与える影響額は、△1,813,643円及び△14,084,938円であり、当該影響額を除いた当期総利益は、0円です。

4. キャッシュ・フロー計算書関係

キャッシュ・フロー計算書の資金の期末残高と貸借対照表の科目との関係

| | |
|--------|-----------------------|
| 現金及び預金 | 8,841,908,770円 |
| 定期預金 | <u>△ 100,000,000円</u> |
| 資金期末残高 | 8,741,908,770円 |

5. 行政サービス実施コスト計算書関係

引当外退職給付増加見積額のうち国等からの出向職員に係るものの額は、26,817,923円であります。

6. 重要な債務負担行為

平成25年度以降に係る重要な債務負担行為は、以下のとおりであります。

次世代インフラ・共通基盤に係る保守料 86,169,515円

7. 重要な後発事象

該当事項はありません。

8. 固有の表示科目の内容

民事法律扶助立替金

総合法律支援法第30条第1項第2号及び東日本大震災の被災者に対する援助のための日本司法支援センターの業務の特例に関する法律（震災特例法）第3条第1項第1号に規定する立替金であります。平成24年4月1日より施行となった震災特例法による立替金は、今年度中に124,242,142円発生し、そのうち8,737,837円が被援助者より償還され、また286,500円が償還免除となった結果、今年度末における残高は、115,217,805円となっております。

9. 金融商品の状況に関する事項

当勘定では、資金運用については安全性の高い預金等に限定しております。

また、民事法律扶助業務により発生する立替金及び未収金は、国内の個人に対するものであり、立替先等の契約不履行によってもたらされる信用リスクに晒されております。この信用リスクの管理として、債権管理規程等に従い、償還状況をチェックし、債権ランク付けを行い、滞納者に対する定期的な督促を実施するなど、債権管理に対する体制を整備し運用しております。

10. 金融商品の時価等に関する事項

期末日における貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。なお、時価を把握することが極めて困難と認められるものは、次表には含めておりません。

(単位：百万円)

| | 貸借対照表計上額 | 時価 | 差額 |
|---------------|----------|---------|-------|
| (1) 現金及び預金 | 8,842 | 8,842 | — |
| (2) 未収金 | 492 | | |
| 貸倒引当金 | △299 | | |
| | 193 | 193 | △0 |
| (3) 民事法律扶助立替金 | 24,679 | | |
| 貸倒引当金 | △16,852 | | |
| | 7,827 | 7,821 | △6 |
| (4) 長期性預金 | 200 | 200 | — |
| (5) 破産更生債権等 | 11,301 | | |
| 貸倒引当金 | △11,301 | | |
| | — | — | — |
| (6) 未払金 | (3,260) | (3,260) | — |
| (7) 預り金 | (259) | (259) | — |
| (8) リース債務 | (102) | (103) | (1) |
| (9) 長期リース債務 | (227) | (216) | (△11) |

(注) 負債に計上されているものは、() で示しております。

(注1) 金融商品の時価の算定方法に関する事項

(1) 現金及び預金、(6) 未払金及び(7) 預り金

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

(2) 未収金及び(3) 民事法律扶助立替金

民事法律扶助立替金及び未収金のうち、一般債権については、期間に基づく区分ごとに、債権の合計額を同額の資金を調達した場合に想定される借入れの利率で割り引いて時価を算定しております。また、貸倒懸念債権については、個別に回収可能性を勘案して貸倒見積高を算定しているため、時価は決算日における貸借対照表価額から現在の貸倒見積高を控除した金額に近似しており、当該価額をもって時価としております。

(4) 長期性預金

長期性預金については、当年度末において預け替えとなった定期預金に係るものであるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

(5) 破産更生債権等

破産更生債権等については、個別に回収可能性を勘案して貸倒見積高を算定しているため、時価は決算日における貸借対照表価額から現在の貸倒見積高を控除した金額に近似しており、当該価額をもって時価としております。

(8) リース債務及び(9) 長期リース債務

これらの時価については、元利金の合計額を、新規に同様のリース取引を行った場合に想定される利率で割り引いた現在価値により算定しております。

(注2) 敷金・保証金(貸借対照表計上額 151,353,411円)は、市場価格がなく、かつ将来キャッシュ・フローを見積ることができず、時価を把握することが極めて困難と認められるため、前表には含めておりません。

(一般勘定)
 附属明細書

1 固定資産の取得及び処分並びに減価償却費及び減損損失累計額の明細

(単位:円)

| 資産の種類 | 期首残高 | 当期増加額 | 当期減少額 | 期末残高 | 減価償却累計額 | | 減損損失累計額 | 差引当期末残高 | 摘要 | |
|----------|---------|------------------|-----------------|-----------------|------------------|---------------|-------------|---------|------------------|------|
| | | | | | 当期償却額 | | | | | |
| 有形固定資産 | 建物 | 1,053,799,457 | 64,202,303 | 13,699,750 | 1,104,302,010 | 324,051,111 | 64,647,178 | 0 | 780,250,899 | 注1・2 |
| | 車両運搬具 | 8,796,428 | 2,964,645 | 0 | 11,761,073 | 4,659,185 | 3,395,095 | 0 | 7,101,888 | |
| | 工具器具備品 | 1,532,221,605 | 26,793,956 | 45,411,457 | 1,513,604,104 | 1,046,839,310 | 148,270,551 | 0 | 466,764,794 | 注3・4 |
| | 計 | 2,594,817,490 | 93,960,904 | 59,111,207 | 2,629,667,187 | 1,375,549,606 | 216,312,824 | 0 | 1,254,117,581 | |
| 無形固定資産 | 電話加入権 | 10,952 | 0 | 0 | 10,952 | 0 | 0 | 0 | 10,952 | |
| | ソフトウェア | 1,042,452,505 | 75,184,659 | 0 | 1,117,637,164 | 718,092,915 | 149,729,972 | 0 | 399,544,249 | 注5 |
| | 計 | 1,042,463,457 | 75,184,659 | 0 | 1,117,648,116 | 718,092,915 | 149,729,972 | 0 | 399,555,201 | |
| 投資その他の資産 | 長期性預金 | 0 | 200,000,000 | 0 | 200,000,000 | 0 | 0 | 0 | 200,000,000 | |
| | 破産更生債権等 | 10,577,461,184 | 1,797,645,205 | 1,074,573,288 | 11,300,533,101 | 0 | 0 | 0 | 11,300,533,101 | 注6・7 |
| | 貸倒引当金 | △ 10,577,461,184 | △ 1,797,645,205 | △ 1,074,573,288 | △ 11,300,533,101 | 0 | 0 | 0 | △ 11,300,533,101 | 注8・9 |
| | 敷金・保証金 | 161,158,605 | 7,790,850 | 17,596,044 | 151,353,411 | 0 | 0 | 0 | 151,353,411 | |
| | 計 | 161,158,605 | 207,790,850 | 17,596,044 | 351,353,411 | 0 | 0 | 0 | 351,353,411 | |

注1:建物の主たる増加要因は、被災地臨時出張所設置工事等によるものであります。

注2:建物の主たる減少要因は、鹿児島地方事務所及び愛知地方事務所三河支部の移転に伴う旧事務所の間仕切り等除去によるものであります。

注3:工具器具備品の主たる増加要因は、被災地臨時出張所開設に伴うネットワーク構築等によるものであります。

注4:工具器具備品の主たる減少要因は、旧情報管理システムのハードウェア一式の除却によるものであります。

注5:ソフトウェアの主たる増加要因は、業務管理システムの改修作業によるものであります。

注6:破産更生債権等の主たる増加原因は、期末時点において民事法律扶助立替金等の債権区分を見直したことによる増加であります。

注7:破産更生債権等の主たる減少原因は、破産更生債権等に分類されていた民事法律扶助立替金等について償還、償還免除又はみなし消滅したことによる減少であります。

注8:貸倒引当金の増加原因は、民事法律扶助立替金の増加であります。

注9:貸倒引当金の減少原因は、民事法律扶助立替金の償還、償還免除及びみなし消滅であります。

2 たな卸資産の明細

(単位:円)

| 種類 | 期首残高 | 当期増加額 | | 当期減少額 | | 期末残高 | 摘要 |
|-----|-----------|---------------|-----|------------|-----|-----------|----|
| | | 当期購入 製造・振替 | その他 | 払出・振替 | その他 | | |
| 貯蔵品 | 6,795,846 | 36,939,777 | 0 | 36,588,690 | 0 | 7,146,933 | |
| 計 | 6,795,846 | 36,939,777 | 0 | 36,588,690 | 0 | 7,146,933 | |

3 民事法律扶助立替金等に対する貸倒引当金の明細

(単位:円)

| 区 分 | | 民事法律扶助立替金等の残高 | | | 貸倒引当金の残高 | | | 摘要 |
|-----------|---------|----------------|---------------|----------------|----------------|---------------|----------------|----|
| | | 期首残高 | 当期増減額 | 期末残高 | 期首残高 | 当期増減額 | 期末残高 | |
| 民事法律扶助立替金 | 一般債権 | 7,599,593,315 | 752,426,730 | 8,352,020,045 | 2,266,748,122 | 171,360,931 | 2,438,109,053 | 注1 |
| | 貸倒懸念債権 | 16,704,753,670 | △ 378,193,852 | 16,326,559,818 | 14,698,416,770 | △ 284,879,570 | 14,413,537,200 | 注2 |
| | 破産更生債権等 | 10,466,313,505 | 687,826,188 | 11,154,139,693 | 10,466,313,505 | 687,826,188 | 11,154,139,693 | 注2 |
| | 計 | 34,770,660,490 | 1,062,059,066 | 35,832,719,556 | 27,431,478,397 | 574,307,549 | 28,005,785,946 | |
| 未収金 | 一般債権 | 195,641,738 | △ 1,880,401 | 193,761,337 | 33,139,042 | 3,527,037 | 36,666,079 | 注1 |
| | 貸倒懸念債権 | 296,306,657 | 1,655,456 | 297,962,113 | 259,613,886 | 2,284,390 | 261,898,276 | 注2 |
| | 破産更生債権等 | 111,147,679 | 35,245,729 | 146,393,408 | 111,147,679 | 35,245,729 | 146,393,408 | 注2 |
| | 計 | 603,096,074 | 35,020,784 | 638,116,858 | 403,900,607 | 41,057,156 | 444,957,763 | |
| 合 計 | | 35,373,756,564 | 1,097,079,850 | 36,470,836,414 | 27,835,379,004 | 615,364,705 | 28,450,743,709 | |

注1:貸倒実績率によっております。

注2:個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。

4 資産除去債務の明細

(単位:円)

| 区 分 | 期首残高 | 当期増加額 | 当期減少額 | 期末残高 | 摘要 |
|-----------------------|-------------|-----------|-------|-------------|------------|
| 不動産賃貸契約に基づく 原状回復義務 | 198,463,443 | 8,855,490 | 0 | 207,318,933 | 会計基準第91特定無 |
| 計 | 198,463,443 | 8,855,490 | 0 | 207,318,933 | |

5 保証債務の明細

(単位:円)

| 区 分 | 期首残高 | | 当期増加 | | 当期減少 | | 期末残高 | | 摘要 |
|---------|------|---------------|------|-------------|------|-------------|------|---------------|----|
| | 件数 | 金額 | 件数 | 金額 | 件数 | 金額 | 件数 | 金額 | |
| 支払保証立担保 | 932 | 1,158,158,969 | 587 | 650,469,000 | 632 | 791,272,969 | 887 | 1,017,355,000 | |

6 資本金及び資本剰余金の明細

(単位:円)

| 区 分 | | 期首残高 | 当期増加額 | 当期減少額 | 期末残高 | 摘要 |
|-------|-------|-------------|-------|-------|-------------|----|
| 資本金 | 政府出資金 | 351,000,000 | 0 | 0 | 351,000,000 | |
| | 計 | 351,000,000 | 0 | 0 | 351,000,000 | |
| 資本剰余金 | 無償贈与 | 40,175,280 | 0 | 0 | 40,175,280 | |
| | 計 | 40,175,280 | 0 | 0 | 40,175,280 | |

7 運営費交付金債務及び当期振替額等の明細

(1) 運営費交付金債務の増減の明細

(単位:円)

| 交付年度 | 期首残高 | 交付金 当期交付額 | 当期回収運 営費交付金 | 当期振替額 | | | | 期末残高 |
|------|---------------|----------------|----------------|---------------|----------------|-------|----------------|---------------|
| | | | | 運営費交付 金収益 | 資産見返運 営費交付金 | 資本剰余金 | 小計 | |
| 23年度 | 3,307,994,907 | 0 | 0 | 3,307,994,907 | 0 | 0 | 3,307,994,907 | 0 |
| 24年度 | 0 | 16,146,633,000 | 0 | 5,358,677,342 | 5,596,482,395 | 0 | 10,955,159,737 | 5,191,473,263 |
| 合 計 | 3,307,994,907 | 16,146,633,000 | 0 | 8,666,672,249 | 5,596,482,395 | 0 | 14,263,154,644 | 5,191,473,263 |

(2) 運営費交付金債務の当期振替額の明細

① 23年度交付分

(単位:円)

| 区 分 | | 金 額 | 内 訳 |
|------------------|------------|---------------|---------------------------------|
| 業務達成基準 による振替額 | 運営費交付金収益 | 0 | (業務達成基準を採用した業務はありません) |
| | 資産見返運営費交付金 | 0 | |
| | 資本剰余金 | 0 | |
| | 計 | 0 | |
| 期間進行基準 による振替額 | 運営費交付金収益 | 0 | (期間進行基準を採用した業務はありません) |
| | 資産見返運営費交付金 | 0 | |
| | 資本剰余金 | 0 | |
| | 計 | 0 | |
| 費用進行基準 による振替額 | 運営費交付金収益 | 3,307,994,907 | ①費用進行基準を採用した業務:全ての業務 |
| | 資産見返運営費交付金 | 0 | ②当該業務に係る損益等 ア)損益計算書に計上した経常費用 |
| | 資本剰余金 | 0 | ③運営費交付金の振替額の積算根拠 |
| | 計 | 3,307,994,907 | 運営費交付金収益=ア) = 3,307,994,907 |
| 合 計 | | 3,307,994,907 | |

| 区 分 | | 金 額 | 内 訳 |
|------------------|------------|----------------|--|
| 業務達成基準 による振替額 | 運営費交付金収益 | 0 | (業務達成基準を採用した業務はありません) |
| | 資産見返運営費交付金 | 0 | |
| | 資本剰余金 | 0 | |
| | 計 | 0 | |
| 期間進行基準 による振替額 | 運営費交付金収益 | 0 | (期間進行基準を採用した業務はありません) |
| | 資産見返運営費交付金 | 0 | |
| | 資本剰余金 | 0 | |
| | 計 | 0 | |
| 費用進行基準 による振替額 | 運営費交付金収益 | 5,358,677,342 | ①費用進行基準を採用した業務：全ての業務 ②当該業務に係る損益等 ア) 損益計算書に計上した経常費用及び臨時損失 14,067,723,599 イ) 損益計算書に計上した資産見返負債戻入 運営費交付金を財源とする固定資産の減価償却費の額 237,668,537 資産見返物品受贈額を財源とする固定資産の減価償却費の額 1,253,760 運営費交付金を財源とする固定資産の除却損の額 10,644,506 資産見返物品受贈額を財源とする固定資産の除却損の額 2,191,431 運営費交付金を財源とする貸倒引当金繰入及び貸倒損失の額 4,982,010,701 計 5,233,768,935 ウ) 損益計算書に計上した自己収入 民事法律扶助事業収益 904,203,526 有償受任事業収益 330,461,062 日弁連受託事業収益 2,057,870,186 寄附金収益 61,553,804 財務収益 2,155,508 その他事業収益 9,566,478 雑益 93,568,177 計 3,459,378,741 エ) ファイナンス・リースの会計処理が損益に与える影響額 △ 1,813,643 オ) 資産除去債務の会計処理が損益に与える影響額 △ 14,084,938 カ) 民事法律扶助立替金への運営費交付金投入額(純額) 5,469,762,218 キ) 償却性固定資産への運営費交付金投入額 126,720,177 ③運営費交付金の振替額の積算根拠 運営費交付金収益＝ア)－イ)－ウ)＋エ)＋オ)＝ 5,358,677,342 資産見返運営費交付金＝カ)＋キ)＝ 5,596,482,395 |
| | 資産見返運営費交付金 | 5,596,482,395 | |
| | 資本剰余金 | 0 | |
| | 計 | 10,955,159,737 | |
| | 合 計 | 10,955,159,737 | |

(3) 運営費交付金債務残高の明細

(単位:円)

| 交付年度 | 運営費交付金債務残高 | | 残高の発生理由及び収益化等の計画 |
|------|-------------------|---------------|--|
| 24年度 | 業務達成基準を採用した業務に係る分 | 0 | (業務達成基準を採用した業務はありません) |
| | 期間進行基準を採用した業務に係る分 | 0 | (期間進行基準を採用した業務はありません) |
| | 費用進行基準を採用した業務に係る分 | 5,191,473,263 | ○費用進行基準を採用した業務は、一般勘定の全ての業務であります。 ○運営費交付金債務残高の発生理由は、民事法律扶助の代理援助実績が少なかったこと及び資金の効率的な運用と経費の削減が行われたためであります。 (注:運営費交付金の収益化については、自己収入を優先的に充てることとしております。) ○翌事業年度に繰り越した運営費交付金債務残高については、翌事業年度において収益化等する予定であります。 |
| | 計 | 5,191,473,263 | |

8 役員及び職員の給与の明細

(単位:千円、人)

| 区分 | 報酬又は給与 | | 退職手当 | |
|----|-----------------------|-----------|------------|--------|
| | 支給額 | 支給人員 | 支給額 | 支給人員 |
| 役員 | 19,933 (12,100) | 2 (5) | - (-) | - (-) |
| 職員 | 3,181,210 (1,035,531) | 928 (980) | 66,425 (-) | 82 (-) |
| 合計 | 3,201,143 (1,047,631) | 930 (985) | 66,425 (-) | 82 (-) |

- 役員に対する報酬等の支給基準の概要
役員に対する報酬及び退職手当については日本司法支援センター役員報酬規程(平成24年規程第16号)及び日本司法支援センター役員退職手当規程(平成18年規程第3号)に基づき支給しております。
- 職員に対する給与等の支給基準の概要
職員に対する給与及び退職手当については日本司法支援センター職員給与規程(平成23年規程第10号)及び日本司法支援センター職員退職手当規程(平成22年規程第37号)に基づき支給しております。
- 支給人員数は年間平均支給人員数を記載しております。
- 非常勤の役員及び職員は、外数として括弧書きしております。
- 損益計算書の人件費には人材派遣費22,290,775円を含まないため、中期計画に定める予算上の人件費とは異なっております。

9 上記以外の主な資産、負債、費用及び収益の明細

(1) 現金及び預金の明細

(単位:円)

| 内 訳 | 金 額 |
|------|---------------|
| 現金 | 14,173,789 |
| 普通預金 | 8,727,734,981 |
| 定期預金 | 100,000,000 |
| 計 | 8,841,908,770 |

(2) 未払金の明細

(単位:円)

| 内 訳 | 金 額 |
|----------------------|---------------|
| 民事法律扶助立替の未払金 | 2,294,724,850 |
| 日弁連委託援助業務委託事業費精算の未払金 | 140,104,757 |
| 日弁連委託業務報酬の未払金 | 175,599,599 |
| 人件費の未払金 | 208,305,662 |
| 固定資産の当期取得 | 44,280,769 |
| 民事法律扶助相談費用の未払金 | 153,923,030 |
| その他の未払金 | 243,156,707 |
| 計 | 3,260,095,374 |

【 国選弁護人確保業務勘定 】

貸借対照表
(平成25年3月31日)

国選弁護人確保業務勘定

(単位:円)

| | | | |
|---------------|---------------|---------------|---------------|
| 資産の部 | | | |
| 流動資産 | | | |
| 現金及び預金 | 2,627,575,090 | | |
| 貯蔵品 | 2,579,834 | | |
| 前払費用 | 35,819,942 | | |
| 未収金 | 890,798 | | |
| 流動資産合計 | | 2,666,865,664 | |
| 固定資産 | | | |
| 有形固定資産 | | | |
| 建物 | 107,245,171 | | |
| 建物減価償却累計額 | △ 33,664,727 | 73,580,444 | |
| 車両運搬具 | 1,041,632 | | |
| 車両運搬具減価償却累計額 | △ 69,442 | 972,190 | |
| 工具器具備品 | 453,552,037 | | |
| 工具器具備品減価償却累計額 | △ 332,756,036 | 120,796,001 | |
| 有形固定資産合計 | | 195,348,635 | |
| 無形固定資産 | | | |
| 電話加入権 | 3,848 | | |
| ソフトウェア | 77,009,143 | | |
| 無形固定資産合計 | | 77,012,991 | |
| 固定資産合計 | | 272,361,626 | |
| 資産合計 | | | 2,939,227,290 |
| 負債の部 | | | |
| 流動負債 | | | |
| 未払金 | 2,164,681,403 | | |
| 未払費用 | 2,014,547 | | |
| 預り金 | 117,925,647 | | |
| 前受収益 | 641,165 | | |
| リース債務 | 34,398,813 | | |
| 引当金 | | | |
| 賞与引当金 | 122,937,487 | | |
| 流動負債合計 | | 2,442,599,062 | |
| 固定負債 | | | |
| 長期リース債務 | 79,179,921 | | |
| 引当金 | | | |
| 退職給付引当金 | 402,761,167 | | |
| 資産除去債務 | 20,476,901 | | |
| 固定負債合計 | | 502,417,989 | |
| 負債合計 | | | 2,945,017,051 |
| 純資産の部 | | | |
| 繰越欠損金 | | | |
| 当期未処理損失 | 5,789,761 | | |
| (うち当期総損失) | (2,118,481) | | |
| 繰越欠損金合計 | | 5,789,761 | |
| 純資産合計 | | | △ 5,789,761 |
| 負債及び純資産合計 | | | 2,939,227,290 |

損益計算書
(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

国選弁護人確保業務勘定

(単位:円)

| | | |
|-----------|----------------|-------------------------|
| 経常費用 | | |
| 業務費 | | |
| 契約弁護士報酬 | 12,647,222,785 | |
| 人件費 | 1,712,796,424 | |
| 減価償却費 | 5,878,463 | |
| その他 | 169,268,205 | 14,535,165,877 |
| 一般管理費 | | |
| 什器備品費 | 1,867,115 | |
| 不動産賃借料 | 474,485,695 | |
| 通信運搬費 | 64,269,373 | |
| 広告宣伝費 | 20,877,479 | |
| 人件費 | 499,351,204 | |
| 減価償却費 | 77,328,352 | |
| その他 | 269,198,859 | 1,407,378,077 |
| 財務費用 | | |
| 支払利息 | 2,124,231 | 2,124,231 |
| 経常費用合計 | | <u>15,944,668,185</u> |
| 経常収益 | | |
| 政府受託収益 | 15,405,364,066 | 15,405,364,066 |
| 雑益 | | 29,624,903 |
| 一般勘定からの受入 | | 507,560,735 |
| 経常収益合計 | | <u>15,942,549,704</u> |
| 経常損失 | | <u>2,118,481</u> |
| 当期純損失 | | <u>2,118,481</u> |
| 当期総損失 | | <u><u>2,118,481</u></u> |

キャッシュ・フロー計算書
(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

国選弁護士確保業務勘定

(単位:円)

| | |
|------------------|------------------|
| 業務活動によるキャッシュ・フロー | |
| 契約弁護士報酬の支出 | △ 12,650,496,990 |
| 物品又はサービスの購入による支出 | △ 1,066,774,026 |
| 人件費支出 | △ 2,126,763,823 |
| その他業務支出 | △ 2,187,229 |
| 政府受託収入 | 15,478,883,767 |
| 一般勘定からの受入 | 507,560,735 |
| その他収入 | 29,922,875 |
| 小計 | 170,145,309 |
| 利息の支払額 | △ 2,124,231 |
| 業務活動によるキャッシュ・フロー | 168,021,078 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | |
| 有形固定資産の取得による支出 | △ 3,892,850 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △ 27,370,882 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △ 31,263,732 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | |
| リース債務の返済による支出 | △ 37,884,278 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △ 37,884,278 |
| 資金増加額 | 98,873,068 |
| 資金期首残高 | 2,528,702,022 |
| 資金期末残高 | 2,627,575,090 |

損失の処理に関する書類

国選弁護人確保業務勘定

(単位:円)

| | | |
|---------|------------------|-------------------------|
| 当期未処理損失 | | <u>5,789,761</u> |
| 当期総損失 | 2,118,481 | |
| 前期繰越欠損金 | <u>3,671,280</u> | |
| 次期繰越欠損金 | | <u><u>5,789,761</u></u> |

行政サービス実施コスト計算書
(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

国選弁護士確保業務勘定

(単位:円)

| | | |
|----------------|------------------|------------------|
| 業務費用 | | |
| (1) 損益計算書上の費用 | | |
| 業務費 | 14,535,165,877 | |
| 一般管理費 | 1,407,378,077 | |
| 財務費用 | 2,124,231 | 15,944,668,185 |
| (2) (控除) 自己収入等 | | |
| 政府受託収益 | △ 15,405,364,066 | |
| 雑益 | △ 29,624,903 | △ 15,434,988,969 |
| 業務費用合計 | | 509,679,216 |
| 引当外退職給付増加見積額 | | 12,620,199 |
| 行政サービス実施コスト | | 522,299,415 |

(国選弁護人確保業務勘定)

重要な会計方針

1. 減価償却の会計処理方法

(1) 有形固定資産

定額法を採用しております。

なお、主な資産の耐用年数は以下のとおりであります。

| | |
|--------|--------|
| 建物 | 3年～18年 |
| 車両運搬具 | 2年～6年 |
| 工具器具備品 | 4年～15年 |

(2) 無形固定資産

定額法を採用しております。

なお、法人内利用のソフトウェアについては、法人内における利用可能期間（5年）に基づいております。

2. 賞与に係る引当金及び見積額の計上基準

役職員に対して支給する賞与の支出に充てるため、支給見込額に基づき当期に負担すべき額を計上しております。

3. 退職給付に係る引当金及び見積額の計上基準

国又は地方公共団体との交流人事による出向職員であり国又は地方公共団体に復帰することが予定されており、退職手当を支給しないことが国家公務員退職手当法第7条の2及び同施行令第9条の2第124号等において明らかな職員について、退職給付に係る引当金は計上しておりません。

上記以外の職員の退職給付に備えるため、当該事業年度末における退職給付債務を計上しております。また、役員への退職手当の支出に備えるため、内規に基づく期末要支給額を計上しております。なお、数理計算上の差異は、各事業年度の発生時に費用処理することとしております。

なお、行政サービス実施コスト計算書における引当外退職給付増加見積額のうち、退職一時金に係る債務については、事業年度末に在籍する役職員について、当期末の退職給付見積額から前期末の退職給付見積額を控除した額から、退職者に係る前期末退職給付見積相当額を控除した額を計上しております。

4. たな卸資産の評価基準及び評価方法

先入先出法による低価法を採用しております。

5. リース取引の処理方法

リース料総額が300万円以上のファイナンス・リース取引については、通常の売買取引に係る方法に準じた会計処理によっております。

リース料総額が300万円未満のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借

取引に係る方法に準じた会計処理によっております。

6. 消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は、税込方式によっております。

(国選弁護士確保業務勘定)

注記事項

1. 区分経理関係

総合法律支援法第43条に基づき、同法第30条第1項第3号の業務及びこれに附帯する業務(国選弁護士確保業務勘定)に係る経理と、その他の業務に係る経理(一般勘定)とに区分して整理しております。

2. 貸借対照表関係

(1) 引当外退職給付引当金の見積額に関する注記

国又は地方公共団体との交流人事による出向職員であり国又は地方公共団体に復帰することが予定されており、退職手当を支給しないことが国家公務員退職手当法第7条の2及び同施行令第9条の2第124号等において明らかな職員の退職給付引当金の見積額は、205,203,800円であります。

(2) 資産除去債務に関する注記

①当該資産除去債務の概要

事務所の不動産賃貸借契約に伴う原状回復義務等であります。

②当該資産除去債務の金額の算定方法

使用見込期間を当該契約の契約期間及び建物附属設備の耐用年数(12~15年)と見積り、取得価額に対応する除去費用の実績率を使用して資産除去債務の金額を算定しております。

③当事業年度における当該資産除去債務の総額の増減

| | |
|-----------------|-------------|
| 期首残高 | 20,219,685円 |
| 有形固定資産の取得に伴う増加額 | 257,216円 |
| 資産除去債務の履行による減少額 | - |
| 期末残高 | 20,476,901円 |

3. 損益計算書関係

ファイナンス・リース取引及び資産除去債務が損益に与える影響額は、△743,967円及び△1,374,514円であり、当該影響額を除いた当期総利益は、0円であります。

4. キャッシュ・フロー計算書関係

キャッシュ・フロー計算書の資金の期末残高と貸借対照表の科目との関係

| | |
|--------|----------------|
| 現金及び預金 | 2,627,575,090円 |
| 資金期末残高 | 2,627,575,090円 |

5. 行政サービス実施コスト計算書関係

引当外退職給付増加見積額のうち国等からの出向職員に係るものの額は、12,620,199円であります。

6. 退職給付関係

(1) 採用している退職給付制度の概要

採用している退職給付制度は、役員及び職員退職一時金制度であります。

(2) 退職給付債務に関する事項

| (区分) | (平成25年3月31日現在) |
|---------|----------------|
| 退職給付債務 | 402,761,167円 |
| 退職給付引当金 | 402,761,167円 |

(3) 退職給付費用に関する事項

| (区分) | (自平成24年4月1日 至 平成25年3月31日) |
|-----------------|---------------------------|
| 勤務費用 | 94,848,929円 |
| 利息費用 | 4,771,262円 |
| 数理計算上の差異の費用処理額 | 12,398,564円 |
| 役員に係る退職手当引当金繰入額 | 828,768円 |
| | 112,847,523円 |

(4) 退職給付債務等の計算の基礎に関する事項

| (区分) | (平成25年3月31日現在) |
|-----------------|----------------|
| ①割引率 | 1.5% |
| ②退職給付見込額の期間配分方法 | 期間定額基準 |
| ③数理計算上の差異 | 発生年度で一括償却 |

7. 重要な債務負担行為

平成25年度以降に係る重要な債務負担行為は、以下のとおりであります。

次世代インフラ・共通基盤に係る保守料 30,275,776円

8. 重要な後発事象

該当事項はありません。

9. 金融商品の状況に関する事項

当勘定では、資金運用については安全性の高い預金等に限定しております。

10. 金融商品の時価等に関する事項

期末日における貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。

(単位：百万円)

| | 貸借対照表計上額 | 時価 | 差額 |
|-------------|----------|---------|------|
| (1) 現金及び預金 | 2,628 | 2,628 | — |
| (2) 未収金 | 1 | 1 | — |
| (3) 未払金 | (2,165) | (2,165) | — |
| (4) 預り金 | (118) | (118) | — |
| (5) リース債務 | (34) | (35) | (1) |
| (6) 長期リース債務 | (79) | (75) | (△4) |

(注) 負債に計上されているものは、() で示しております。

(注1) 金融商品の時価の算定方法に関する事項

(1) 現金及び預金、(2) 未収金、(3) 未払金及び(4) 預り金

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

(5) リース債務及び(6) 長期リース債務

これらの時価については、元利金の合計額を、新規に同様のリース取引を行った場合に想定される利率で割り引いた現在価値により算定しております。

(国選弁護士確保業務勘定)
 附属明細書

1 固定資産の取得及び処分並びに減価償却費及び減損損失累計額の明細

(単位:円)

| 資産の種類 | 期首残高 | 当期増加額 | 当期減少額 | 期末残高 | 減価償却累計額 | | 減損損失累計額 | 差引当期末残高 | 摘要 | |
|------------|--------|-------------|------------|-----------|-------------|-------------|------------|---------|-------------|------|
| | | | | | 当期償却額 | | | | | |
| 有形 固定資産 | 建物 | 106,902,547 | 1,864,818 | 1,522,194 | 107,245,171 | 33,664,727 | 6,086,543 | 0 | 73,580,444 | 注1・2 |
| | 車両運搬具 | 0 | 1,041,632 | 0 | 1,041,632 | 69,442 | 69,442 | 0 | 972,190 | |
| | 工具器具備品 | 445,487,489 | 8,335,182 | 270,634 | 453,552,037 | 332,756,036 | 39,918,067 | 0 | 120,796,001 | 注3・4 |
| | 計 | 552,390,036 | 11,241,632 | 1,792,828 | 561,838,840 | 366,490,205 | 46,074,052 | 0 | 195,348,635 | |
| 無形 固定資産 | 電話加入権 | 3,848 | 0 | 0 | 3,848 | 0 | 0 | 0 | 3,848 | |
| | ソフトウェア | 287,239,400 | 13,556,255 | 0 | 300,795,655 | 223,786,512 | 37,132,763 | 0 | 77,009,143 | 注5 |
| | 計 | 287,243,248 | 13,556,255 | 0 | 300,799,503 | 223,786,512 | 37,132,763 | 0 | 77,012,991 | |

注1:建物の主たる増加要因は、鹿児島地方事務所等の移転に伴う新事務所の間仕切り工事によるものであります。
 注2:建物の主たる減少要因は、鹿児島地方事務所及び愛知地方事務所三河支部の移転に伴う旧事務所の間仕切り等除去によるものであります。
 注3:工具器具備品の主たる増加要因は、全国法律事務所用PC端末機器のリース等によるものであります。
 注4:工具器具備品の主たる減少要因は、旧情報管理システムのハードウェア一式の除却によるものであります。
 注5:ソフトウェアの主たる増加要因は、業務管理システムの改修作業によるものであります。

2 たな卸資産の明細

(単位:円)

| 種類 | 期首残高 | 当期増加額 | | 当期減少額 | | 期末残高 | 摘要 |
|-----|-----------|---------------|-----|------------|-----|-----------|----|
| | | 当期購入 製造・振替 | その他 | 払出・振替 | その他 | | |
| 貯蔵品 | 2,426,216 | 13,245,488 | 0 | 13,091,870 | 0 | 2,579,834 | |
| 計 | 2,426,216 | 13,245,488 | 0 | 13,091,870 | 0 | 2,579,834 | |

3 引当金の明細

(単位:円)

| 区分 | 期首残高 | 当期増加額 | 当期減少額 | | 期末残高 | 摘要 |
|-------|-------------|-------------|-------------|-----|-------------|----|
| | | | 目的使用 | その他 | | |
| 賞与引当金 | 117,550,840 | 122,937,487 | 117,550,840 | 0 | 122,937,487 | |
| 計 | 117,550,840 | 122,937,487 | 117,550,840 | 0 | 122,937,487 | |

4 退職給付引当金の明細

(単位:円)

| 区分 | 期首残高 | 当期増加額 | 当期減少額 | 期末残高 | 摘要 |
|------------|-------------|-------------|------------|-------------|----|
| 退職給付債務合計額 | 321,172,460 | 112,847,523 | 31,258,816 | 402,761,167 | |
| 退職一時金に係る債務 | 321,172,460 | 112,847,523 | 31,258,816 | 402,761,167 | |
| 退職給付引当金 | 321,172,460 | 112,847,523 | 31,258,816 | 402,761,167 | |

5 資産除去債務の明細

(単位:円)

| 区 分 | 期首残高 | 当期増加額 | 当期減少額 | 期末残高 | 摘要 |
|-----------------------|------------|---------|-------|------------|------------|
| 不動産賃貸契約に基づく 原状回復義務 | 20,219,685 | 257,216 | 0 | 20,476,901 | 会計基準第91特定無 |
| 計 | 20,219,685 | 257,216 | 0 | 20,476,901 | |

6 役員及び職員の給与の明細

(単位:千円、人)

| 区 分 | 報酬又は給与 | | 退職手当 | |
|-----|---------------------|-------|------------|-------|
| | 支給額 | 支給人員 | 支給額 | 支給人員 |
| 役 員 | 9,818 (5,960) | - (-) | - (-) | - (-) |
| 職 員 | 1,579,252 (284,288) | - (-) | 31,259 (-) | - (-) |
| 合 計 | 1,589,070 (290,248) | - (-) | 31,259 (-) | - (-) |

① 役員に対する報酬等の支給基準の概要

役員に対する報酬及び退職手当については日本司法支援センター役員報酬規程(平成24年規程第16号)及び日本司法支援センター役員退職手当規程(平成18年規程第3号)に基づき支給しております。

② 職員に対する給与等の支給基準の概要

職員に対する給与及び退職手当については日本司法支援センター職員給与規程(平成23年規程第10号)及び日本司法支援センター職員退職手当規程(平成22年規程第37号)に基づき支給しております。

③ 非常勤の役員及び職員は、外数として括弧書きしております。

④ 損益計算書の人件費には人材派遣費1,857,193円を含まないため、中期計画に定める予算上の人件費とは異なっております。

⑤ 支給人員は、一般勘定にて合わせて記載しております。

7 上記以外の主な資産、負債、費用及び収益の明細

(1) 現金及び預金の明細

(単位:円)

| 内 訳 | 金 額 |
|------|---------------|
| 普通預金 | 2,627,575,090 |
| 計 | 2,627,575,090 |

(2) 未払金の明細

(単位:円)

| 内 訳 | 金 額 |
|------------------|---------------|
| 国選弁護士契約弁護士報酬の未払金 | 1,909,508,491 |
| 国選委託費の国庫への返還分未払金 | 117,996,934 |
| 人件費の未払金 | 74,122,984 |
| 固定資産の当期取得 | 1,284,772 |
| その他の未払金 | 61,768,222 |
| 計 | 2,164,681,403 |